SUNCORPORATION

Rooster NSX

機能説明書

はじめに

本機能説明書では、Web 設定ツールについて解説しています。
本製品を活用するための参考資料としてご利用ください。

なお、LAN/WAN の配線、インターネットへの接続などの機能を使用する際の設定例については説明しておりません。
これらに関しては、下記の設定例集をご覧ください。

- https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/

また、Web 設定ツールはレスポンシブデザインを採用しており、ブラウザの設定で見え方が異なることがあります。

表記について

本機能説明書では、安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項に次のマークを表示しております。

!!	人体に危険を及ぼしたり、装置に大きなダメージを与えたりする可能性があることを示しています。必ずお守りください。
!	機能停止を招いたり、各種データを消してしまったりする可能性があることを示しています。十分に注意してください。
memo	関連する情報を記載しています。参考にお読みください。

商標について

「Rooster」は、サン電子株式会社の登録商標です。
Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中の各社の商標または登録商標には、TM、®マークは表示しておりません。

GPL / LGPLライセンスについて

本製品は、GPL / LGPL の適用ソフトウェアを使用しております。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品につきましては保証書、および取扱説明書記載の条件により当社による保証がなされています。GPL / LGPL のライセンスにつきましては、以下の URL をご覧ください。

- http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
- http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

変更済み GPL 対象モジュール、その配布方法につきましては、サン電子（株）サポートセンターにご連絡ください。なお、配布時発生する費用はお客様のご負担となります。

▶ 本取扱説明書の画面イメージは開発中のものです。
実際の画面とは多少異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ここに記載している注意事項は、安全に関わる重要な内容ですので、必ず守ってください。本取扱説明書では、安全上の注意事項を「警告」と「注意」に区分しています。

 警告	この表示を無視して、間違った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、間違った取り扱いをした場合、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関する拡大損害を示しています。
 禁止	禁止行為（してはいけないこと）を示しています。
 強制	強制行為（必ずしなければいけないこと）を示しています。

なお、注意、禁止に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく場合があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警 告

分解禁止

本製品を分解したり、改造したりしないでください。

➔ 感電、火災、故障の原因になります。

禁止

近くに雷が発生したときには AC アダプタまたは電源ケーブルを本体から抜いてご使用をお控えください。

➔ 落雷が火災、感電、故障の原因となるときがあります。

禁止

本製品に水などの液体をかけたり、異物を入れたりしないでください。

➔ 感電や火災の原因になります。

万一、本製品に液体がかかったり、異物が入ったりした場合は、AC アダプタまたは電源ケーブルを本体から抜いて、点検修理を依頼してください。

強制

製品から煙、異臭、異常音が発生した場合は、AC アダプタまたは電源ケーブルを本体から抜き、本製品を接続している機器からケーブルを取り外してください。また、点検修理を依頼してください。

➔ 火災の原因になります。

禁止

電源ケーブルを傷つけないでください。

➔ 感電、火災の原因になります。

強制

AC アダプタは、AC100V コンセントに接続してください。また、本製品を設置、移動する時は、電源プラグを抜いてください。

➔ 故障、火災の原因になります。

禁止

梱包のポリ袋などは、小さいお子様の手の届く所に置かないでください。

➔ 小さいお子様がかぶったり、飲みこんだりすると、呼吸を妨げる危険があります。

強制

電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。また、電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に一回程度）に取り除いてください。

➔ 電源プラグの間にほこりが付着し、電源が短絡して発煙、発火、火災の恐れがあります。

⚠注 意

禁止

この取扱説明書に記載されている周囲環境条件以外では、使用、保管しないでください。

➔ 本製品の故障や破損などによって、発煙、発火、感電の原因になります。下記の環境には、特にご注意ください。

- 製品周囲の温度や湿度が極端に高い、または低い場所
- 結露がある場所
- 急激な温度変化が起きる場所
- ほこりが多い場所
- 静電気が発生しやすい場所
- 腐食性のガスが発生する場所
- 水などがかかりやすい場所
- 振動や衝撃が加わるような不安定な場所
- 油煙が当たる場所
- 直射日光が当たる場所
- 製品周囲に発熱する器具や燃えやすい物がある場所
- 周囲に置いてある物との間に適切な空間がない場所

禁止

専用の AC アダプタまたは規格に合った電源以外を使用しないでください。

➔ 他の電源を使用すると、故障、火災の原因になります。

禁止

本製品を壁等に固定する際には、オプション品として用意している専用の固定セット（取り付け金具、ネジ）を使用してください。他の取り付け金具およびネジの使用や直接のネジ止めによる固定は行わないでください。

強制

30cm 以上の高さから落とした場合は、使用を中止し、点検、修理を依頼してください。

➔ そのまま使用すると、重大な事故になる可能性があります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針(平成 26 年 8 月 19 日)」（電波環境協議会）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器等へ及ぼす影響を防止するための指針(平成 28 年 11 月)」（総務省）を参考にしています。

警 告

強制

医療機関(病床数 20 床未満の診療所も含む)では次のことを守って使用してください。ただし本装置の使用については、各医療機関の指示に従うようにしてください。

- 本装置を医用電気機器に密着して使用しないでください。
- 本装置を病室、診療室で使用する場合には、医用電気機器から 1m 程度以上離してください。
- 待合室、ロビー、食堂、廊下、エレベータホール等で医用電気機器を使用している患者がいる場合、本装置を医用電気機器から 1m 程度以上離してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、検査室、治療室には本装置を持ち込まないでください。

強制

本装置を植込み型医療機器の装着部位から 15cm 程度以上離してください。

➔ 15cm 程度の離隔距離が確保できない恐れがある場合には、事前に本装置の電源を切ってください。

自宅療養などにより医療機関の外で、埋込み型医療機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ご使用時の取り扱いについて

ご使用にあたってのお願い

- 本製品周辺で静電気的障害を発生させないでください。
  ➔ 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。特に、コネクタの接点、ポート、その他の部品に、素手で触れないでください。部品が静電破壊するおそれがあります。
- 本製品はていねいに取り扱ってください。
  ➔ 本製品に強いショックを与えると破損の原因になります。
- 本製品のお手入れは、電源を切った状態で行ってください。
  ➔ 誤動作や故障の原因になります。
- 本製品のお手入れには、揮発性の有機溶剤、薬品、化学ぞうきんなどを使用せず、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布に台所中性洗剤をしみこませて固く絞ってから拭き、最後に乾いた柔らかい布で仕上げてください。
  ➔ 揮発性の有機溶剤、薬品、化学ぞうきんなどを使用すると、変質、変色、場合によっては破損の原因になります。

地球環境保全のため、次のことにご協力ください。
- 本製品および付属品は、不燃物として処分してください。
- 廃棄方法は、地方自治体などで決められた分別収集方法に従ってください。
- 一般ごみとして、家庭で焼却処分しないでください。
- 処分方法によっては有害物質が発生する可能性があります。

ご注意

- 本製品は日本の法規制に準拠しており、日本国内での使用を想定して設計しています。
  ➔ 海外でのご使用をお考えの場合は、弊社までご相談ください
- 本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など 人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計・製造はしておりません。このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることで、お客様 もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわりなく、 当社としましては一切の責任を負いません。お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、事前に使用環境・条件を考慮し十分に評価を実施した上でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 強い磁界の中や腐食性のガスの中で使用したり保管したりしないでください。
  故障の原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本装置の電源を切ってください。電波により電子機器が誤作動するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

  【ご注意いただきたい電子機器の例】
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器を使用される方は、各位用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- 取扱説明書について、次の点にご注意ください。
  1. 本製品は無線によるデータ通信を行うことができる装置です。本製品の不具合、誤動作又は停電、回線障害、その他の外部要因によって通信障害が発生したために生じた損害等については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  2. 本取扱説明書の内容の一部または全部を、無断で転載することを禁止します。
  3. 本取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
  4. 本取扱説明書の内容につきましては、万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や、ご不明な点、誤り、記載漏れ、乱丁、落丁、その他お気づきの点等ございましたら、当社までご連絡ください。
  5. 適用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
  6. 本取扱説明書で指示されている内容につきましては、必ず従ってください。本取扱説明書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害や損害につきましては、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

設定の入力及び保存について

入力値について

Web 設定ツールは、基本的に半角英数字のみの入力をサポートしております。
全角文字や、記号の入力値はサポートしておりませんのでご注意ください。

※URL やアドレス等の一部設定項目は半角の「.」（ドット）、「-」（ハイフン）、「_」（アンダースコア）等の半角記号をご使用いただけます。

設定の保存について

Web 設定ツールの共通項目であるに保存ボタンついて説明します。

保存 & 適用	設定の変更及び、実動作へ反映します。
保存	設定の変更を行います。実動作には反映されません。
リセット	入力中の設定を取り消します。
設定の保存	現在の動作に反映されている設定をフラッシュメモリへ保存します。
保存されていない変更: 1	実動作へ反映していない設定を表示します。 ※「1」は変更した設定件数です。
元に戻す	保存されていない変更: 1 の内容を取り消します。

一括更新について

Web 設定ツールでは設定追加、変更後に 保存 を実行した場合、実動作には反映しません。

保存 を押下後に実動作への反映を行う場合、

Web 設定ツールの画面右上の 保存されていない変更: 1 選択し、

保存 & 適用 を実行することで、保存されている変更を実動作へ反映することができます。

目次

1章　ステータス

この章では、本装置の Web 設定ツールのステータスについて説明します。

1-1 概要

概要

［ステータス］－［概要］ページについて説明します。
概要ページでは、本装置のステータス全般を確認できます。

1-1-1　システム

- 本装置のシステムに関する情報を表示します。

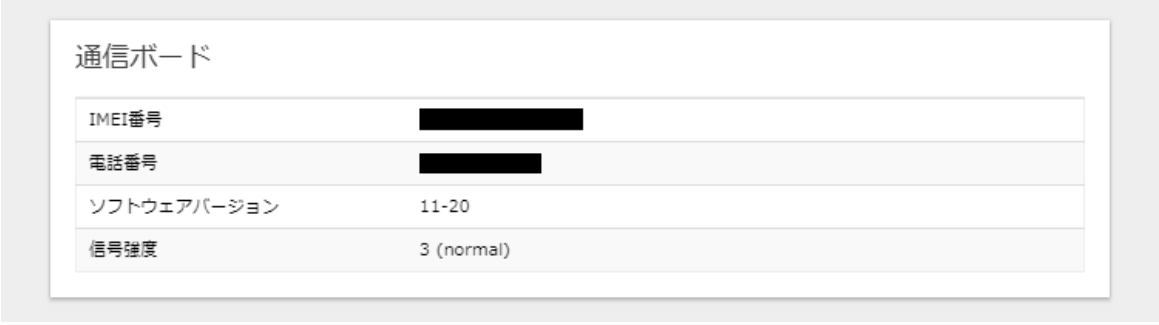
システムの表示内容

項目	内容
ホスト名	本装置のホスト名を表示します。
製造番号	本装置の製造番号(シリアル番号)を表示します。
モデル	本装置の製造モデルを表示します。
ファームウェア・バージョン	本装置のファームウェアバージョンを表示します。
カーネルバージョン	カーネルのバージョンを表示します。
時刻	システム時刻を表示します。
起動時間	本装置の起動時間を表示します。
システム平均負荷	システムの平均負荷(load average)を表示します。 過去 1 分間、5 分間、15 分間の平均負荷を表示します。
現在のブートエリア	現在のブートエリアを表示します。
次回起動時のブートエリア	次回起動時のブートエリアを表示します。

1-1-2 通信ボード

- 本装置の通信ボードに関する情報を表示します。

> memo 通信ボードの内容は、モバイルの設定が有効な場合に表示されます。
> 取得できなかった情報は表示されません。

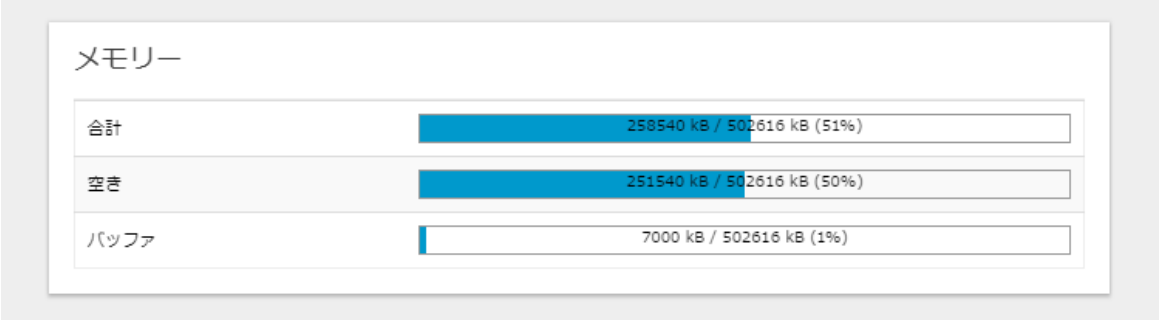


通信ボードの表示内容

項目	内容
IMEI	通信モジュールの IMEI を表示します。
電話番号	通信モジュールに挿入された SIM の電話番号を表示します
ソフトウェアバージョン	通信モジュールのソフトウェアバージョンを表示します。
信号強度	通信モジュールのアンテナ状態を表示します。 0 ： 圏外等通信不可時 1 ： 弱い 2 ： やや弱い 3 ： 普通

1-1-3 メモリー

- 本装置のメモリーの使用状況を表示します。



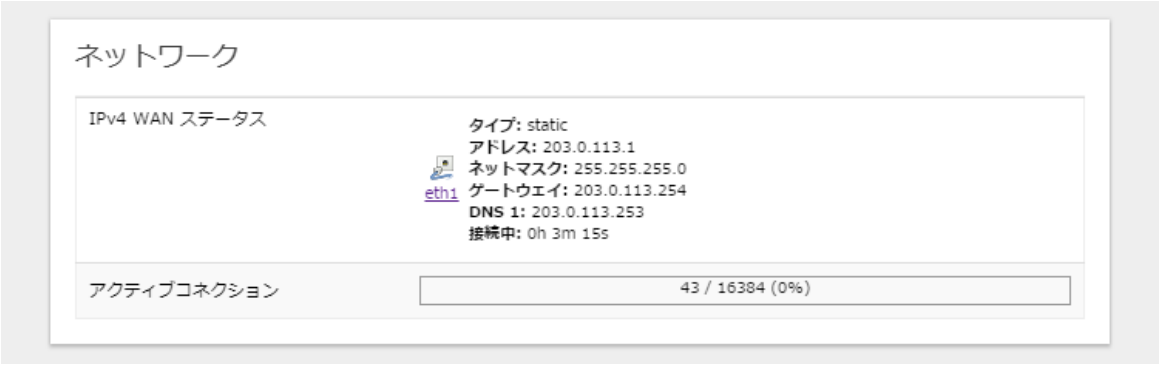
メモリーの表示内容

項目	内容
合計	使用可能なメモリの合計を表示します。
空き	空き領域を表示します。
バッファ	カーネルが使用中ですが、開放可能な領域を表示します。

1-1-4 ネットワーク

- 本装置のデフォルトルートのインタフェース情報を表示します。

memo IPv4 WAN ステータスは有効なデフォルトルートが存在しない場合、表示されません。



ネットワークの表示内容

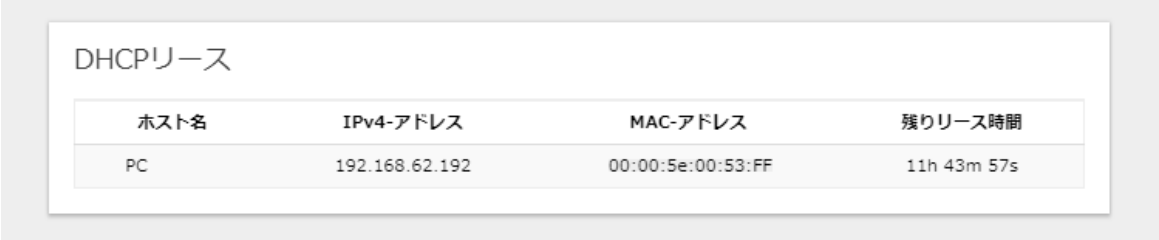
項目	内容
IPv4 WAN ステータス	デフォルトルートとして選択されているインタフェース情報です。
アクティブコネクション	本装置のファイアウォールが監視しているコネクション数を表示します。

IPv4 WAN ステータスの表示内容

項目	内容
タイプ	プロトコルタイプを表示します。 詳細は「4-1 インターフェース」を参照ください。
アドレス	インタフェースの IP アドレスを表示します。
ネットマスク	インタフェースのネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	ネクストホップを表示します。
DNS 1	DNS サーバを表示します。
接続中	インタフェースの UP 状態の経過時間を表示します。

1-1-5 DHCPリース

- 本装置の DHCP サーバとしてのリース情報を表示します。



DHCPリースの表示内容

項目	内容
ホスト名	リース先のホスト名です。
IPv4-アドレス	リースしたアドレスです。
MAC-アドレス	リース先の MAC アドレスです。
残りリース時間	リースしたアドレスが無効になるまでの残り時間です。

1-1-6 ダイナミックDNS

- ダイナミック DNS の情報を表示します。

ダイナミックDNSの表示内容

項目	内容
設定	ダイナミック DNS の設定名を表示します。
次のアップデート	次の更新時間を表示します。
Lookup ホスト名	登録する予定のアドレスと一致しているか参照する為のホスト名を表示します。
登録 IP	ダイナミック DNS に登録したアドレスを表示します。
ネットワーク	ダイナミック DNS に登録するネットワーク情報を表示します。

1-2 ファイアウォール

概要

［ステータス］－［ファイアウォール］ページについて説明します。

ファイアウォールページでは、本装置のファイアウォールの設定状態とコネクション追跡の監視状態を確認できます。

テーブル

- 本装置のファイアウォールの設定情報を表示します。

1-2-1 テーブル：Filter

「4-7-1 一般設定」、「4-7-2 ゾーン設定」、「4-7-4 トラフィック・ルール設定」で設定されたフィルタリングの情報を表示します。

1-2-2 テーブル：NAT

「4-7-2 ゾーン設定」で設定されたマスカレード設定、「4-7-3 ポートフォワーディング設定」、「4-7-5 送信元 NAT 設定」の情報を表示します。

1-2-3 テーブル：Mangle

本装置では設定項目はありません。

1-2-4 テーブル：Raw

「4-7-4 トラフィック・ルール設定」で設定されたコネクション追跡の情報を表示します。

1-2-5 表示内容について

ファイアウォール・ステータスの表示内容について説明します

ファイアウォール･ステータスの表示内容

項目	内容
パケット	条件に一致したパケット数を表示します。
トラフィック	条件に一致したパケット数を表示します。
ターゲット	下記 3 つの設定された条件に一致したパケットに対するアクションを表示します。 ACCEPT：許可 REJECT：拒否 DROP：遮断 その他の表示については設定名（チェイン名）です。
プロトコル	条件を適用するプロトコルを表示します。
イン	条件を適用する受信インタフェースを表示します。
アウト	条件を適用する送信インタフェースを表示します。
送信元	条件を適用する送信元アドレスを表示します。
送信先	条件を適用する宛先アドレスを表示します。
オプション	条件を適用するプロトコルのタイプや状態を表示します。 また、トラフィック・ルールの設定名も表示します。

接続状態

- 本装置のコネクション追跡の情報を表示します。

1-3 経路情報

概要

［ステータス］－［経路情報］ページについて説明します。
経路情報ページでは、本装置の ARP と有効な経路情報を確認できます。

1-3-1 ARP

- 現在の ARP テーブルを表示します。

1-3-2 稼働中のIPv4経路情報

- 現在有効な経路情報を表示します。

1-4 システムログ

概要

［ステータス］－［システムログ］ページについて説明します。
システムログページでは、本装置に保存されているシステムログを表示できます。

システムログ

- 本装置に保存されているシステムログを表示します。

> 保存されているシステムログを取得し表示する為、データ量が非常に多くなる可能性があります。

ログの操作

項目	内容
システムログファイルを全て消去する	本装置に保存されているシステムログを全て消去します。

1-5 カーネルログ

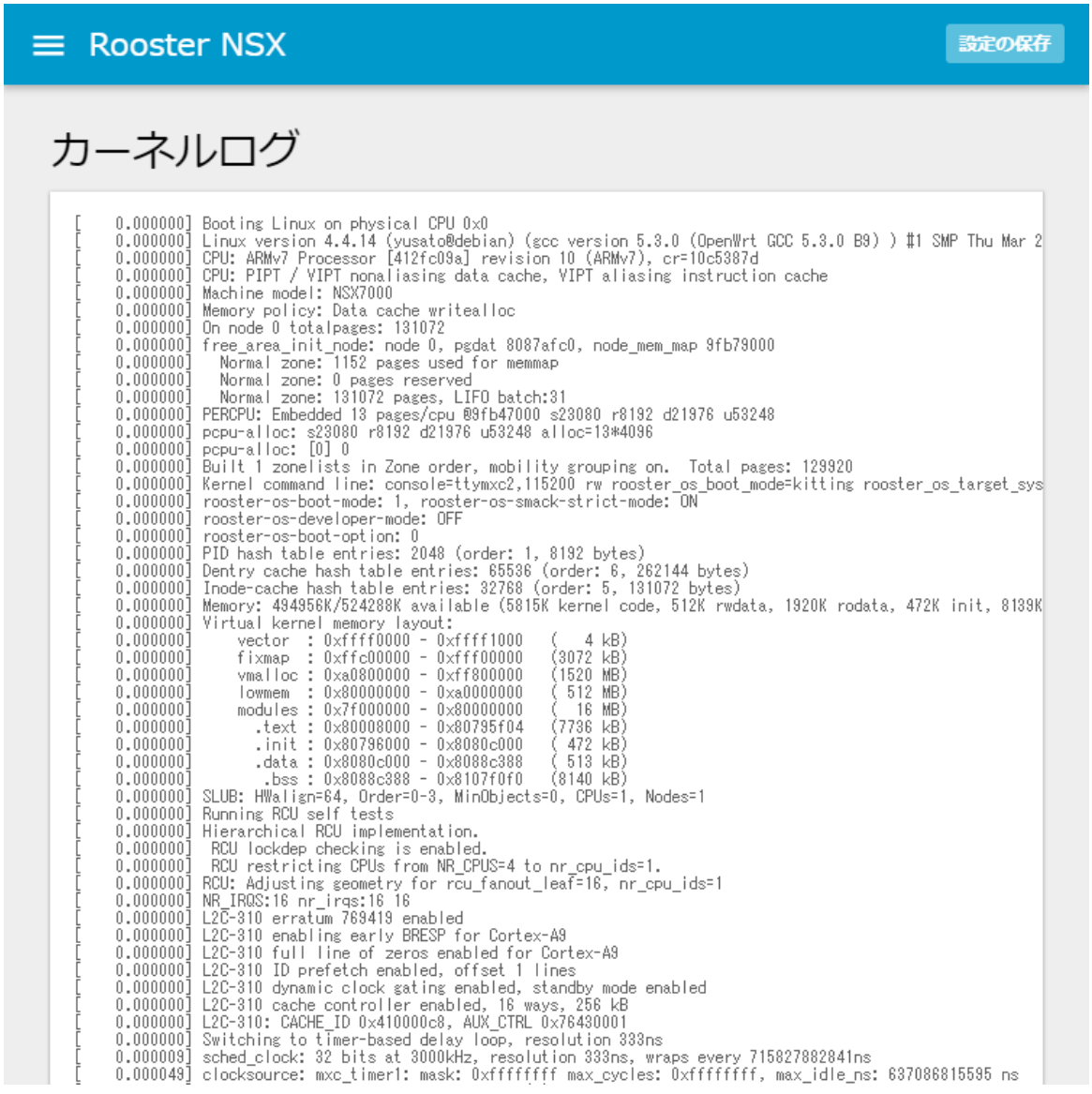
概要

［ステータス］－［カーネルログ］ページについて説明します。
カーネルログページでは、本装置に保存されているカーネルログを表示できます。

カーネルログ

- 本装置に保存されているカーネルログを表示します。

> 保存されているカーネルログを取得し表示する為、データ量が非常に多くなる可能性があります。



1-6 プロセス

概要

［ステータス］－［プロセス］ページについて説明します。
プロセスページでは、本装置で実行中のプロセス一覧を確認できます。

プロセス

- 現在の実行中のプロセスを表示します。

> 再起動、停止、強制終了ボタンを実行した後の動作についてはサポートの対象外です。

プロセスの表示内容

項目	内容
PID	PID を表示します。
所有者	実行ユーザを表示します。
コマンド	プロセスの実行コマンドを表示します。
CPU 使用率（%）	CPU 使用率を表示します。
メモリ使用率（%）	メモリ使用率を表示します。
再起動	実行中プロセスに HUP シグナルを送信します。
停止	実行中プロセスに TERM シグナルを送信します。
強制終了	実行中プロセスに KILL シグナルを送信します。

1-7 リアルタイム・グラフ

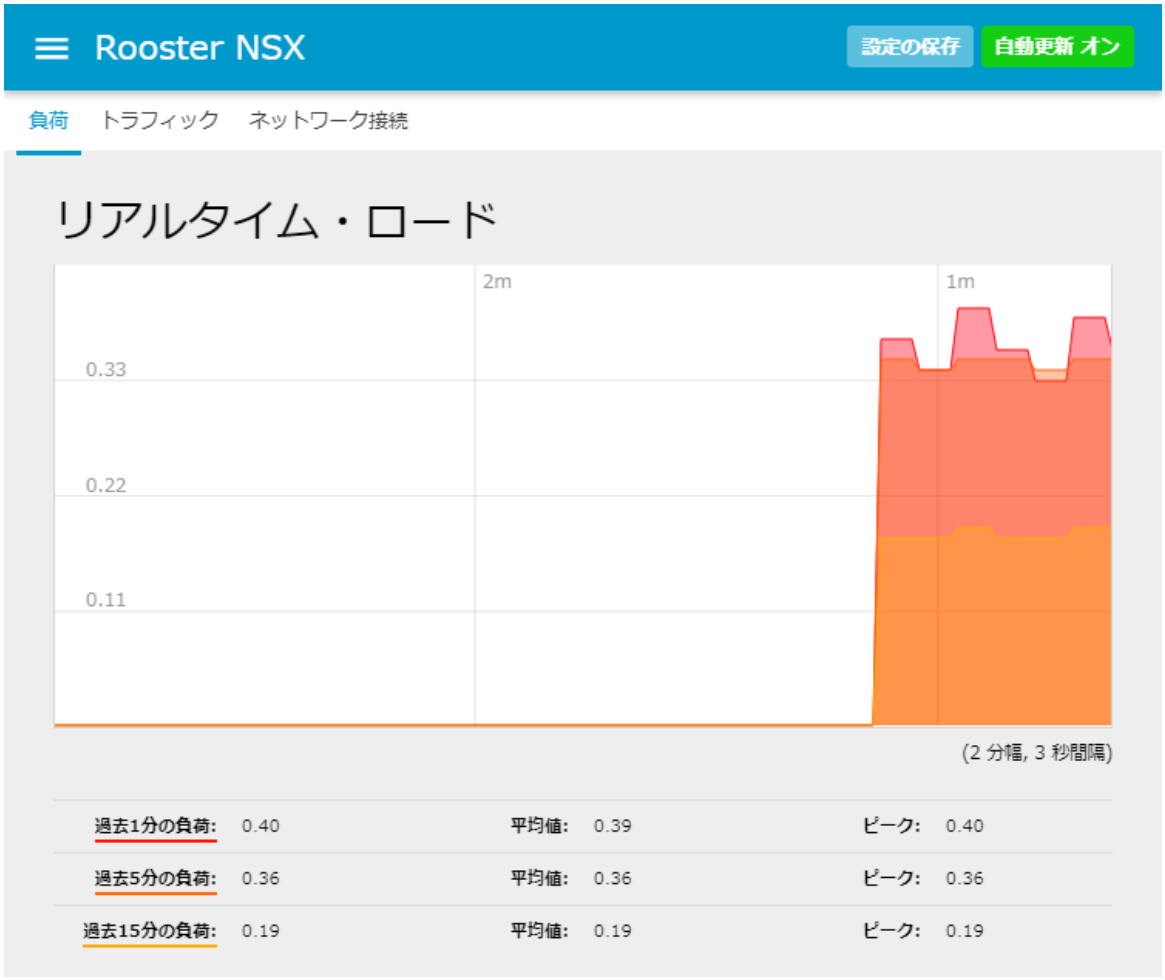
概要

［ステータス］－［リアルタイム・グラフ］ページについて説明します。

リアルタイム・グラフページでは、システムの平均負荷、インタフェースのトラフィック、アクティブなコネクションをグラフとして確認できます。

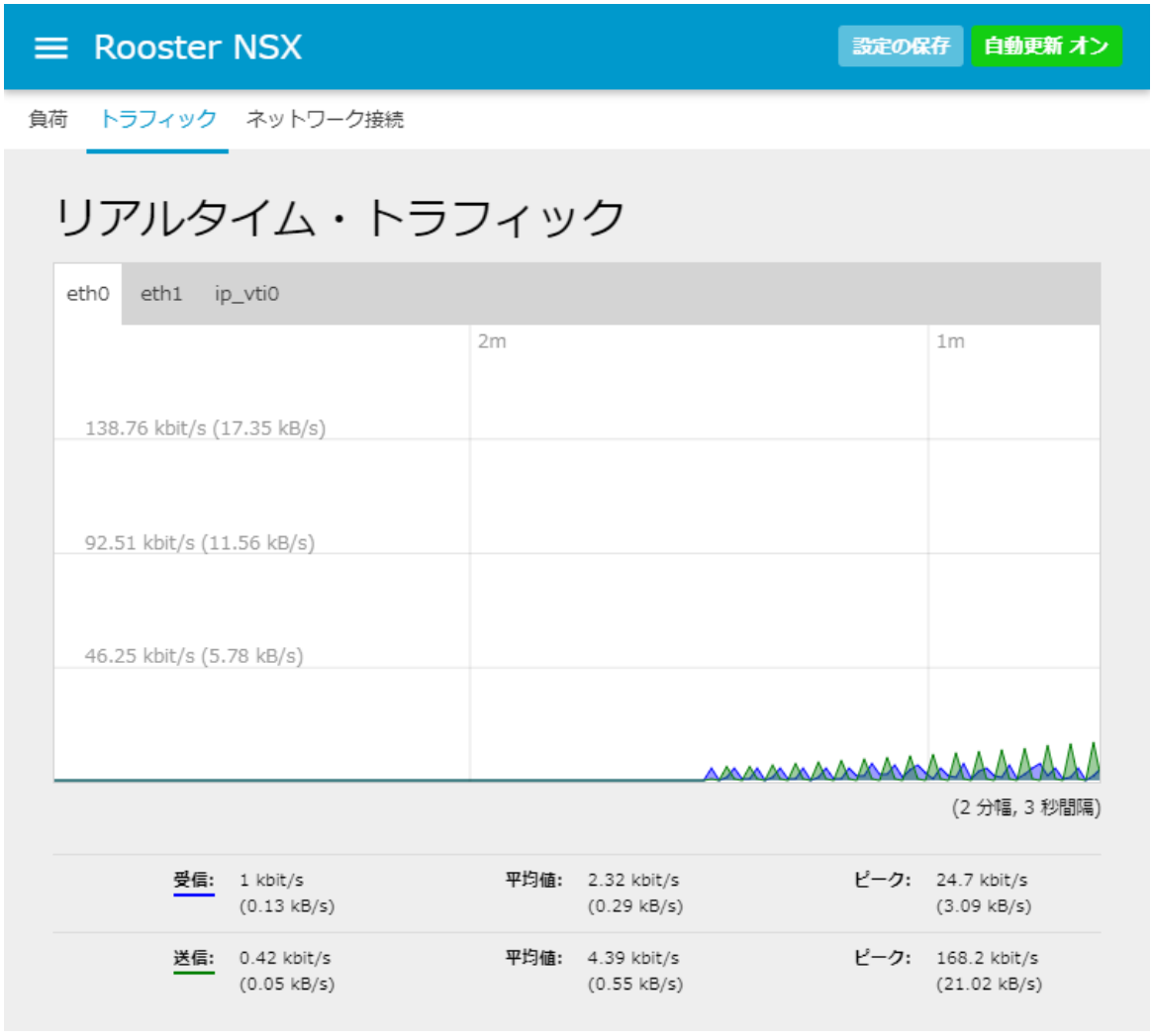
1-7-1 負荷

- 過去 1 分以内、5 分以内、15 分以内のシステムの平均負荷を 3 秒間隔で表示します。



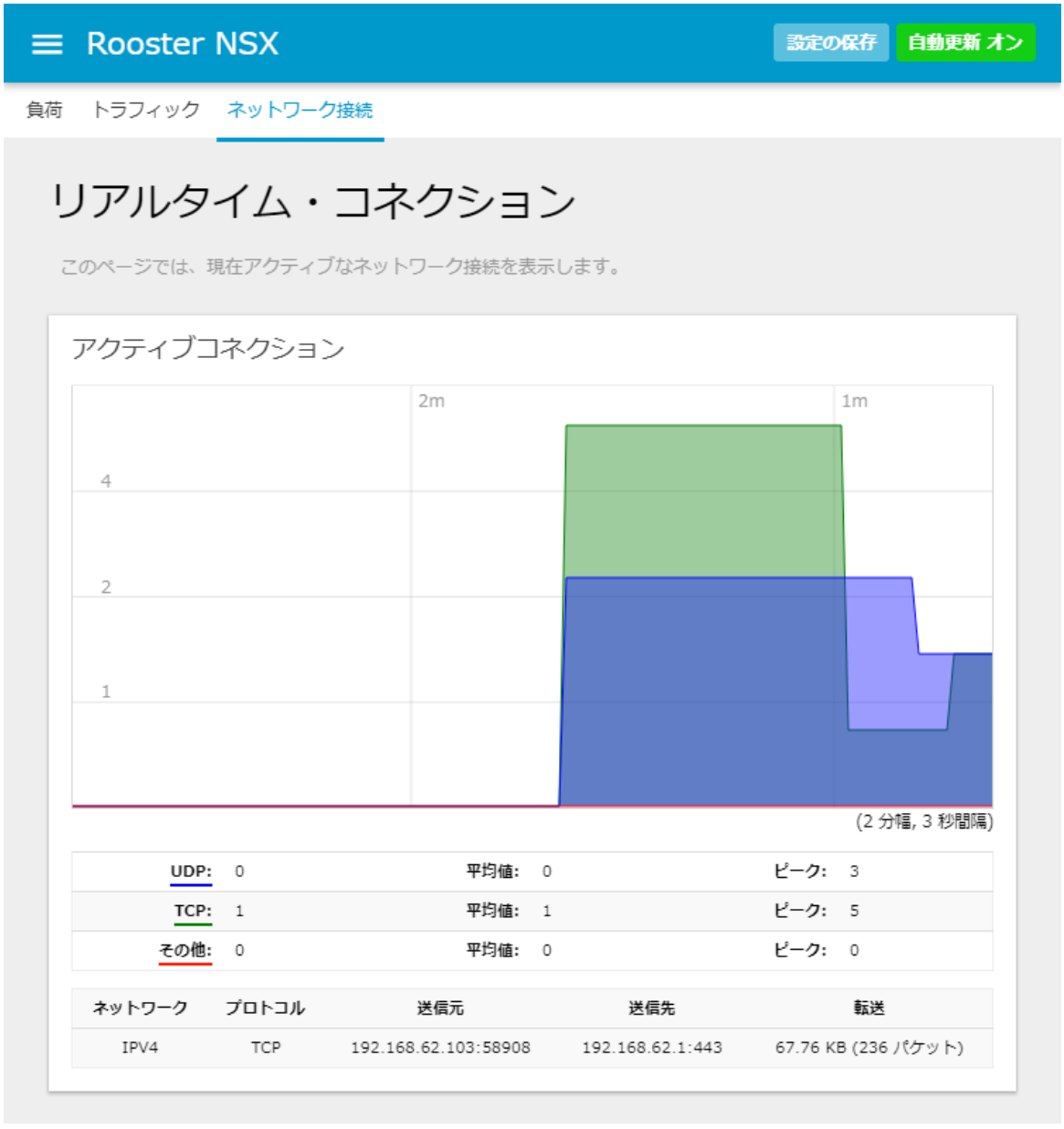
1-7-2 トラフィック

- 各インタフェースのトラフィック量を３秒間隔で表示します。



1-7-3 ネットワーク接続

- アクティブなコネクションの情報を 3 秒間隔で表示します。



1-8 トリガーグループ

概要

［ステータス］－［トリガーグループ］ページについて説明します。

トリガーグループのステータスページでは、設定されているトリガーグループの有効、無効の状態を一覧で確認できます。

トリガーグループのステータス

- 「4-8 トリガー」に設定されているトリガーの状態を確認できます。

ステータスセクション

項目	内容
trigger-group	「4-8 トリガー」に設定されているトリガーの設定名を表示します。
status	設定の有効無効を表示します。 ※disable の場合は、設定されたイベントが発生しても、アクションは実行されません

1-9 IPsec

概要

［ステータス］－［IPsec］ページについて説明します。
IPsec ページでは、IPsec の設定情報、IPsec 接続情報を確認できます。

1-9-1 IPsecステータス

- IPsec 現在の状態を表示します。
- 下記表示例は IPsec 接続完了時の状態です。

IPsecステータスの表示内容

項目	内容
Connection list	「4-9IPsec」の有効な設定の詳細情報を表示します。
Total IPsec Connections	現在の IPsec 接続状態を表示します。 Connection list の設定に紐付く IKE SA、IPsec SA の状態を表示します。

Total IPsec Connectionsの表示内容

IPsec 接続の状態について説明します。

項目	SA 状態	内容
ISAKMP SA の状態	STATE_AGGR_I2 (sent AI2, ISAKMP SA established)	アグレッシブモードで ISAKMP SA が確立した状態です。
	STATE_AGGR_I1 (sent AI1, expecting AR1)	アグレッシブモードの ISAKMP SA の生成で停止しています。 アルゴリズムや事前共有鍵、識別子等の設定をご確認ください。
	STATE_MAIN_I4 (ISAKMP SA established)	メインモードで ISAKMP SA が確立した状態です。
	STATE_MAIN_I3 (sent MI3, expecting MR3)	メインモードの ISAKMP SA の生成で停止しています。 事前共有鍵や識別子等の設定をご確認ください。
	STATE_MAIN_I2 (sent MI3, expecting MR3)	メインモードの ISAKMP SA の生成で停止しています。 事前共有鍵や識別子等の設定をご確認ください。
	STATE_MAIN_I1 (sent MI1, expecting MR1)	メインモードの ISAKMP SA の生成で停止しています。 アルゴリズム等の設定をご確認ください。
IPsec SA の状態	STATE_QUICK_I2 (sent QI2, IPsec SA established)	IPsec SA が確立した状態です。
	STATE_QUICK_I1 (sent QI1, expecting QR1)	IPsec SA の生成で停止しています。 PFS や、ローカルネットワーク等の設定をご確認ください。

1-10 PPTPサーバ

概要

[ステータス]- [PPTP サーバ]ページについて説明します。

PPTP サーバページでは、PPTP 接続状態を一覧で確認できます。

接続状態

- PPTP サーバに接続されたクライアントの状態を確認できます。

接続状態の表示内容

項目	内容
インタフェース	クライアントとの接続で使用されているインタフェース名を表示します。
クライアント名	クライアントが使用しているユーザ名を表示します。
クライアント IP アドレス	クライアントに割り当てたアドレスを表示します。

1-11 L2TP/IPsecサーバ

概要

［ステータス］-［L2TP/IPsec サーバ］ページについて説明します。

L2TP/IPsec サーバページでは、L2TP/IPsec の接続状態を一覧で確認できます

接続状態

- L2TP/IPsec サーバに接続されたクライアントの状態を確認できます。

接続状態の表示内容

項目	内容
インタフェース	クライアントとの接続で使用されているインタフェース名を表示します。
クライアント名	クライアントが使用しているユーザ名を表示します。
クライアント IP アドレス	クライアントに割り当てたアドレスを表示します。

1-12 遮断ログ

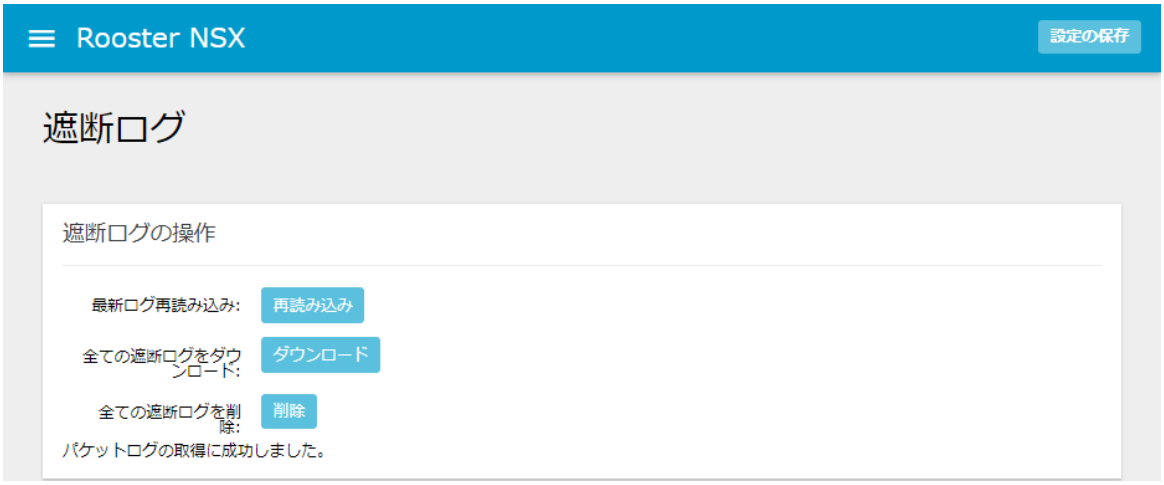
概要

［ステータス］-［遮断ログ］ページについて説明します。

遮断ログページでは、遮断したパケットのログを一覧で確認できます

遮断ログの操作

- 遮断ログの「再読み込み」・「ダウンロード」・「削除」を行うことができます。



ボタン項目の説明

項目	内容
最新ログ再読み込み	最新の遮断ログを再読み込みし、表示を更新します。
全ての遮断ログをダウンロード	遮断ログを csv ファイルとしてダウンロードします。
全ての遮断ログを削除	全ての遮断ログを削除します。

遮断ログ

- 遮断ログを一覧で確認できます。

ボタン項目の説明

項目	内容
前へ	現在位置から前の 100 件を表示します。
次へ	現在位置から次の 100 件を表示します。

ログの表示内容

項目	内容
番号	ログに記録された通し番号を表示します。
時間	パケットを処理した時間を表示します。
タイプ	パケットの処理タイプを表示します。 REJECT:パケットを拒否した場合に表示されます。 DROP:パケットを遮断した場合に表示されます。
プロトコル	パケットのプロトコルを表示します。 TCP・UDP・ICMP 以外は番号で表示されます。
送信元 IP	パケットの送信元 IP アドレスを表示します。
送信元ポート	パケットの送信元ポートを表示します。
送信先 IP	パケットの送信先 IP アドレスを表示します。
送信先ポート	パケットの送信先ポートを表示します。
ゾーン名	パケットを処理したゾーン名を表示します。
受信	パケットを受信したインタフェース名を表示します。
送信	パケットを送信したインタフェース名を表示します。
結果	結果を表示します。 終了：パケットの監視を終了した場合に出力されます。 タイムアウト：監視セッションで 2 分以上通信が行われなかった場合に出力されます。

1-13 通過ログ

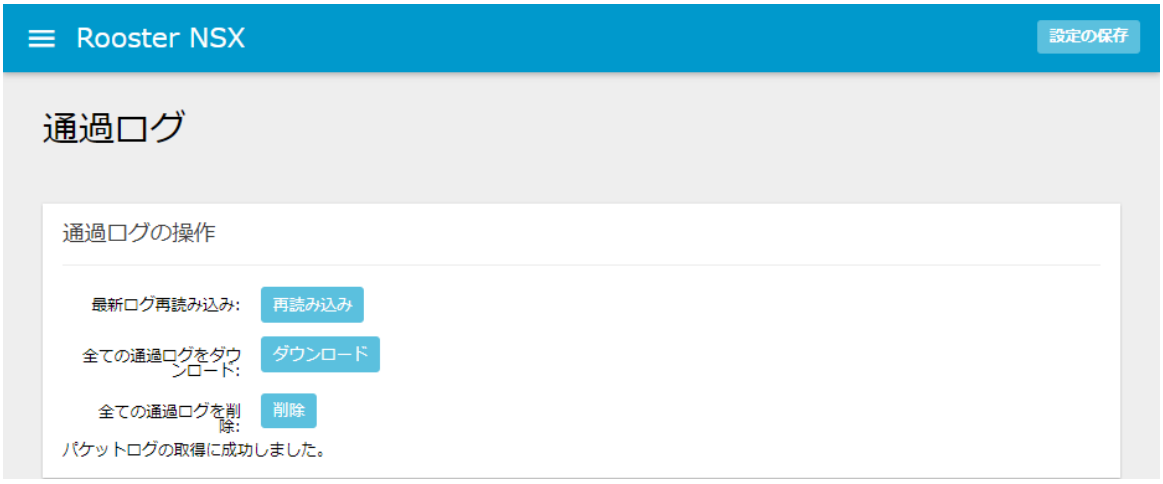
概要

[ステータス] - [通過ログ]ページについて説明します。

通過ログページでは、通過したパケットのログを一覧で確認できます

通過ログの操作

- 通過ログの「再読み込み」・「ダウンロード」・「削除」を行うことができます。



ボタン項目の説明

項目	内容
最新ログ再読み込み	最新の通過ログを再読み込みし、表示を更新します。
全ての通過ログをダウンロード	通過ログを csv ファイルとしてダウンロードします。
全ての通過ログを削除	全ての通過ログを削除します。

通過ログ

- 通過ログを一覧で確認できます。

ボタン項目の説明

項目	内容
前へ	現在位置から前の 100 件を表示します。
次へ	現在位置から次の 100 件を表示します。

ログの表示内容

項目	内容
番号	ログに記録された通し番号を表示します。
時間	パケットを処理した時間を表示します。
プロトコル	パケットのプロトコルを表示します。 TCP・UDP・ICMP 以外は番号で表示されます。
方向	パケットの方向を表示します。
送信元 IP	パケットの送信元 IP アドレスを表示します。
送信元ポート	パケットの送信元ポートを表示します。
送信先 IP	パケットの送信先 IP アドレスを表示します。
送信先ポート	パケットの送信先ポートを表示します。
ゾーン名	ゾーン名を表示します。
受信	パケットを受信したインタフェース名を表示します。
送信	パケットを送信したインタフェース名を表示します。
結果	結果を表示します。 終了：パケットの監視を終了した場合に出力されます。 タイムアウト：監視セッションで 2 分以上通信が行われなかった場合に出力されます。

2章 システム

この章では、本装置のシステムに関する設定について説明します。

2-1 システム

概要

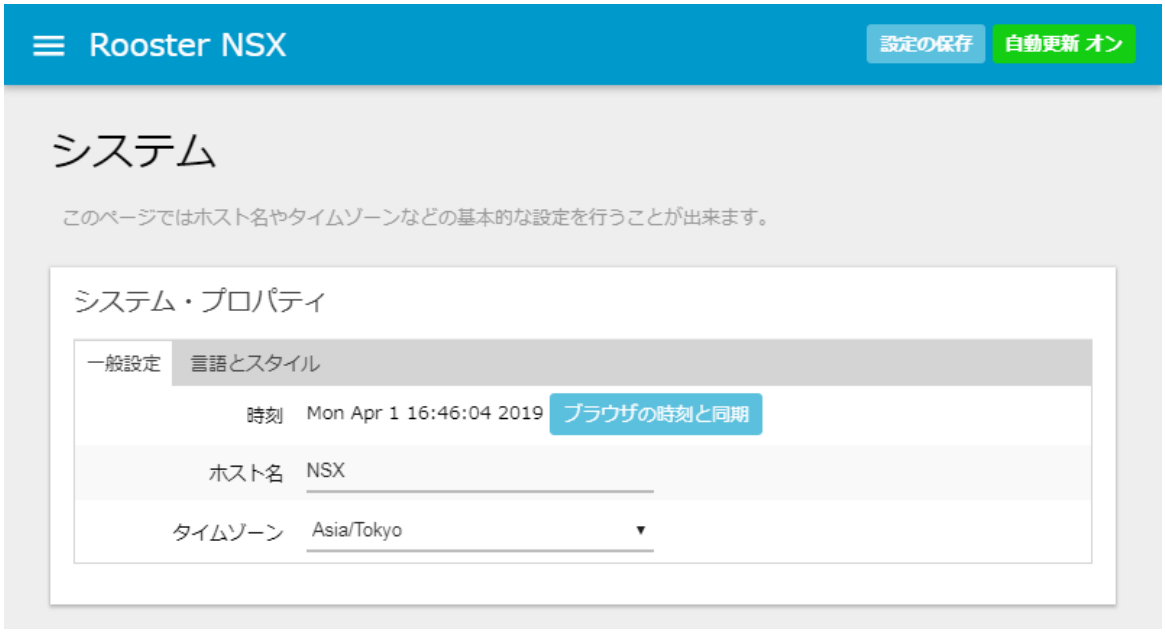
［システム］－［システム］ページについて説明します。

システム設定ページでは、本装置のホスト名、Web 設定ツールの言語、時刻の調整機能を設定できます。

2-1-1 システム・プロパティ

一般設定

- 本装置のホスト名及びタイムゾーンを設定できます。



ボタン項目の説明

項目	内容
ブラウザの時刻と同期ボタン	Web 設定ツールでアクセスしている端末の時刻を本装置に設定します。

タブ項目の説明

項目	内容
言語とスタイルタブ	Web 設定ツールの使用言語の設定項目を表示します。

設定項目の説明

項目	内容
ホスト名	本装置のホスト名を設定します。
タイムゾーン	本装置のタイムゾーンを設定します。

言語とスタイル

- 本装置のホスト名及びタイムゾーンの設定が行えます。

タブ項目の説明

項目	内容
一般設定タブ	ホスト名及びタイムゾーンの設定項目を表示します。

設定項目の説明

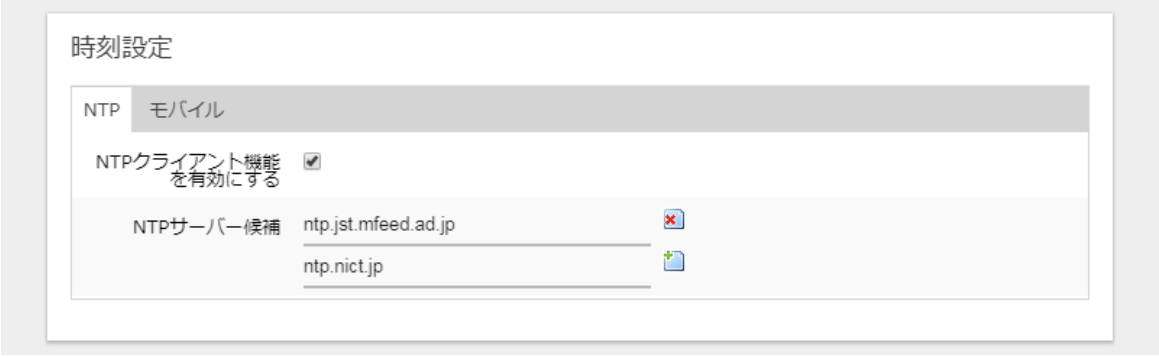
項目	内容
言語	Web 設定ツールの使用言語を設定します。 auto：言語を自動的に識別します。 English：英語を使用します。 日本語(japanese)：日本語を使用します。

2-1-2 時刻設定

NTP

- NTP サーバに問い合わせを行い、自動的に時刻を調整します。

> NTP とモバイルによる時刻調整は併用できません。



タブ項目の説明

項目	内容
モバイル	通信モジュールを用いて時刻を調整する設定項目を表示します。

設定項目の説明

項目	内容
NTP クライアント機能を有効にする	NTP クライアント機能が有効になります。
NTP サーバ候補	NTP クライアントが問い合わせを行う NTP サーバのアドレスを設定します。

モバイル

- 通信モジュールを用いて自動的に時刻を調整します。

> 本機能を使用するためには別途 SIM を用意し、PPP の設定を行う必要があります。
>
> NTP とモバイルによる時刻調整は併用できません。

タブ項目の説明

項目	内容
NTP	NTP クライアントの設定項目を表示します。

設定項目の説明

項目	内容
モバイル機器の時間を使っての時間同期を有効にする。	通信モジュールによる時刻調整が有効になります。
インターバル時間（分）	時刻調整の間隔（分）を指定できます。

2-2 管理画面

概要

［システム］－［管理画面］ページについて説明します。

管理画面設定ページでは、本装置のパスワードの設定や、SSH アクセスに関する設定を行うことができます。

2-2-1 パスワード設定

本装置 Web 設定ツールのログインパスワードの変更を行えます。

設定項目の説明

項目	内容
パスワード	変更後のパスワードを入力します。
確認	変更後のパスワードを再入力します。

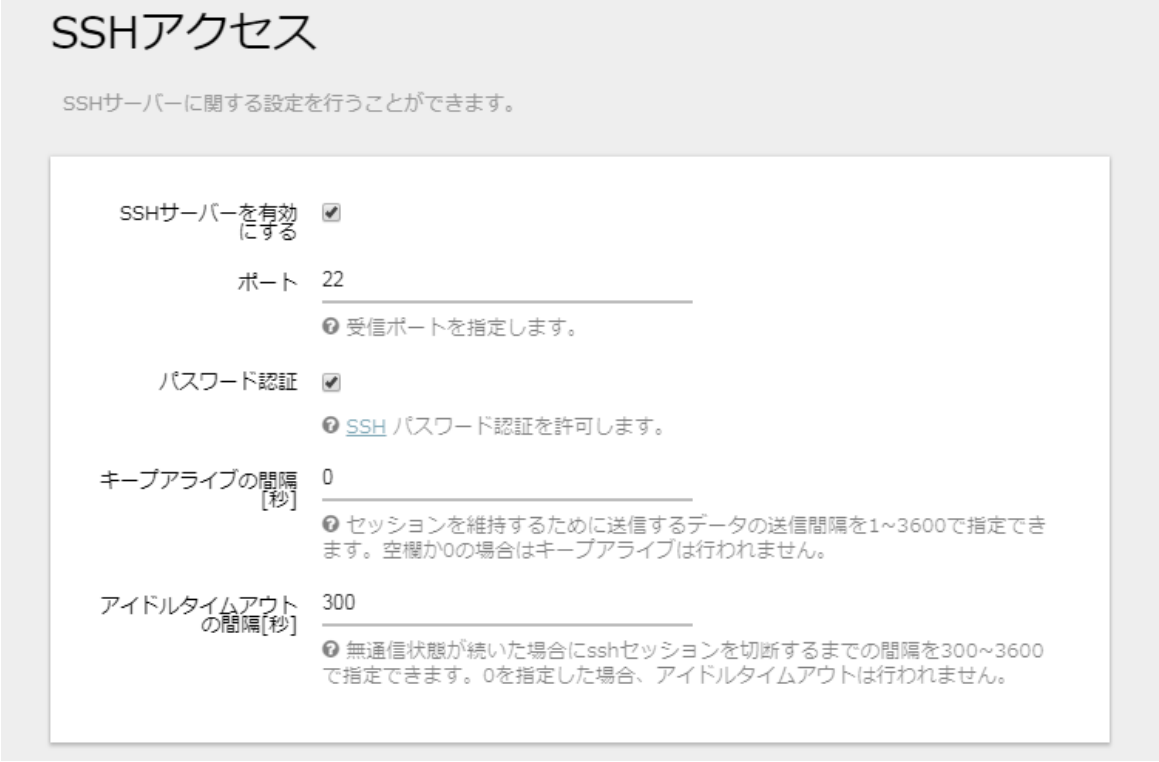
ボタンの説明

項目	内容
	入力された文字を表示します。

2-2-2 SSHアクセスに関する設定

SSHサーバ

- 本装置の SSH サーバに関する設定を行えます。



設定項目の説明

項目	内容
SSH サーバーを有効にする	SSH サーバ機能を有効にし、SSH アクセスできるようにします。
ポート	SSH サーバが待ち受けを行うポートを設定します。
パスワード認証	SSH サーバのパスワード認証機能を有効にします。
キープアライブの間隔【秒】	SSH サーバとの SSH セッション維持のためのデータを送信する間隔を設定します。
アイドルタイムアウトの間隔【秒】	SSH サーバ、クライアント間で無通信の時間が続いた場合に、SSH セッションを切断するまでのタイムアウト時間を設定します。

SSHキー

- SSH で使用する公開鍵の設定を行えます。

> root タブは設定できません。suncorp タブを選択し、suncorp ユーザに公開鍵を設定してください。

SSHキー設定の説明

項目	内容
suncorp タブ	suncorp ユーザーの SSH 公開鍵を設定します。

2-3 システムログ

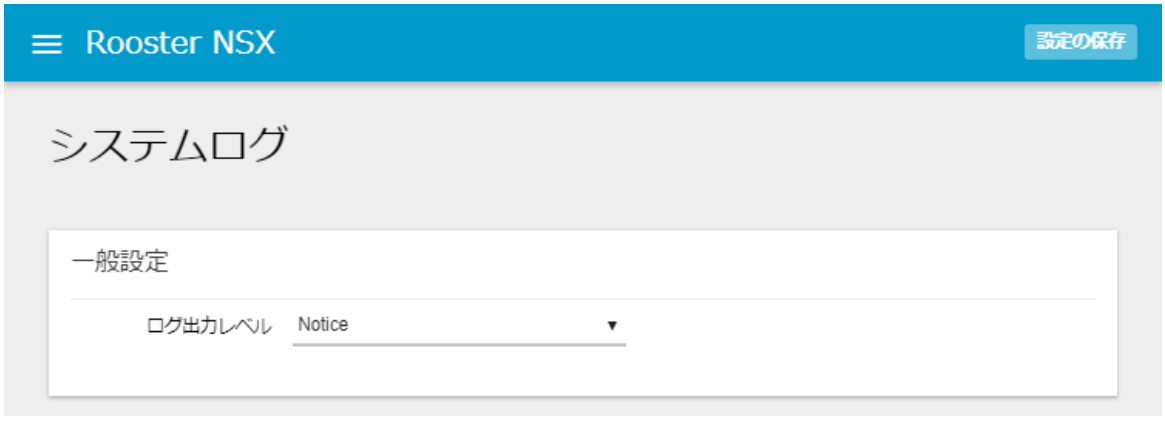
概要

［システム］－［システムログ］ページについて説明します。

システムログ設定ページでは、システムログに関する設定を行うことができます。

2-3-1 一般設定

本装置に保存するシステムログのログレベルを設定します。

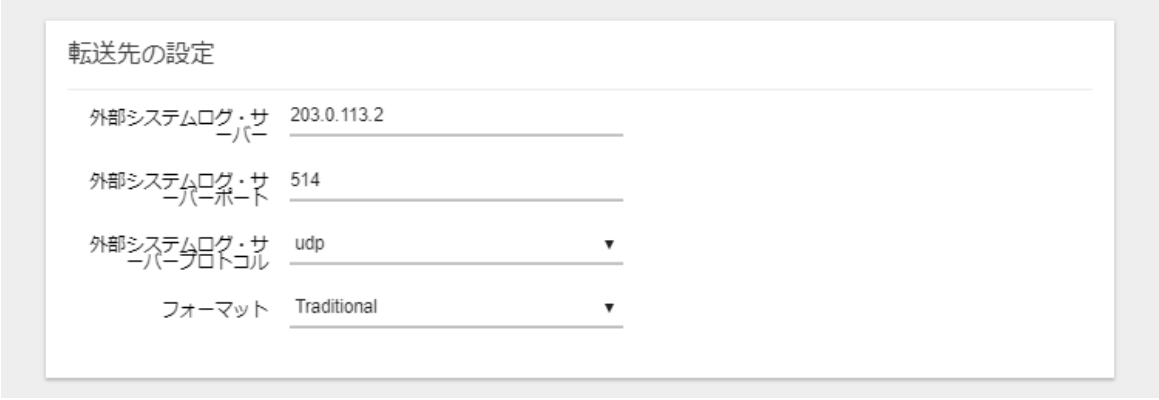


設定項目の説明

項目	内容
ログ出力レベル	システムログファイルに出力するログのレベルを設定します。

2-3-2 転送先の設定

外部に設置した syslog サーバにシステムログを転送する設定をします。



設定項目の説明

項目	内容
外部システムログ・サーバー	システムログの転送先アドレスを設定します。
外部システムログ・サーバーポート	システムログの転送先のサーバポートを設定します。
外部システムログ・サーバープロトコル	転送先のサーバのプトロコルを設定します。 udp： プトロコル UDP を指定します。 tcp： プトロコル TCP を指定します。
フォーマット	転送するシステムログのフォーマットを設定します。 Traditional： RFC3164 で定められたフォーマットです。 Modern： RFC5424 で定められたフォーマットです。

2-4 Web設定ツール

概要

［システム］－［Web 設定ツール］ページについて説明します。

Web 設定ツールへのアクセスに関わる設定ができます。

設定項目の説明

項目	内容
HTTP 待ち受けポート	HTTP の待ち受けポートを設定します。
HTTPS 待ち受けポート	HTTPS の待ち受けポートを設定します。
プライベート IP フィルタ	一部特殊な環境からのプライベート IP アドレスによるアクセスを禁止します。 通常の同一ネットワークからのアクセスには影響ありません。

待ち受けポートを変更すると、Web 設定ツールとのセッションが切断されます。

2-5 電源制御

概要

［システム］－［電源制御］ページについて説明します。
電源制御ページでは、自動的に再起動を行う設定ができます。

memo 【電源制御の設定方法】
https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=reboot

2-5-1 ハードウェア電源制御

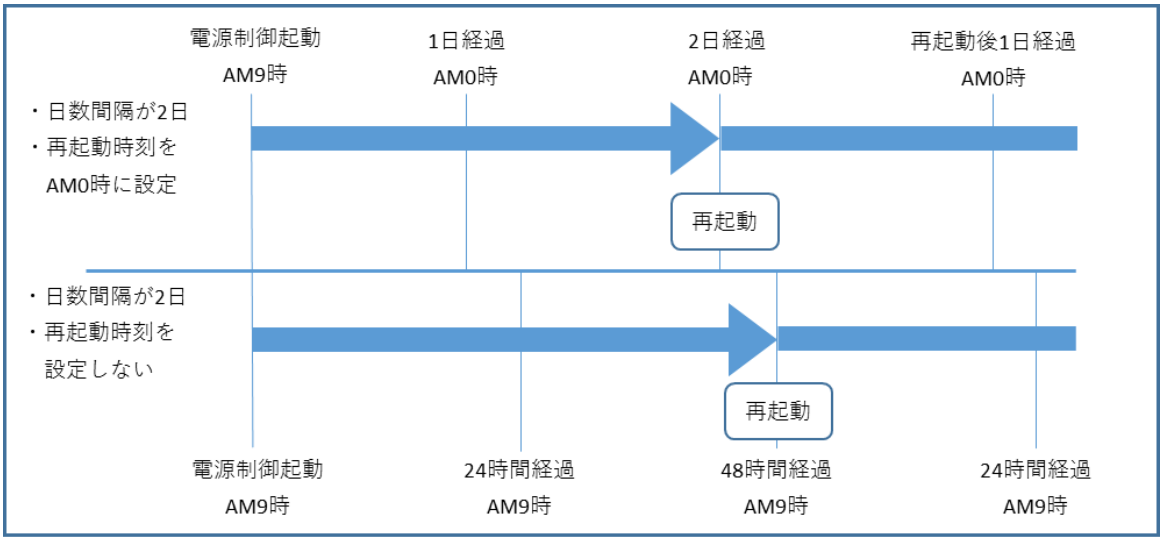
- ハードウェアによる時刻監視で再起動を行います。

設定項目の説明

項目	内容
有効にする	ハードウェア電源制御が有効になります。
間隔（日）	指定した日数経過すると再起動を行います。
再起動時刻を指定する	再起動を行う時刻を指定できます。
再起動時刻（時）	再起動を行う時刻を 0 時～23 時の範囲で指定できます。（1 時間単位）

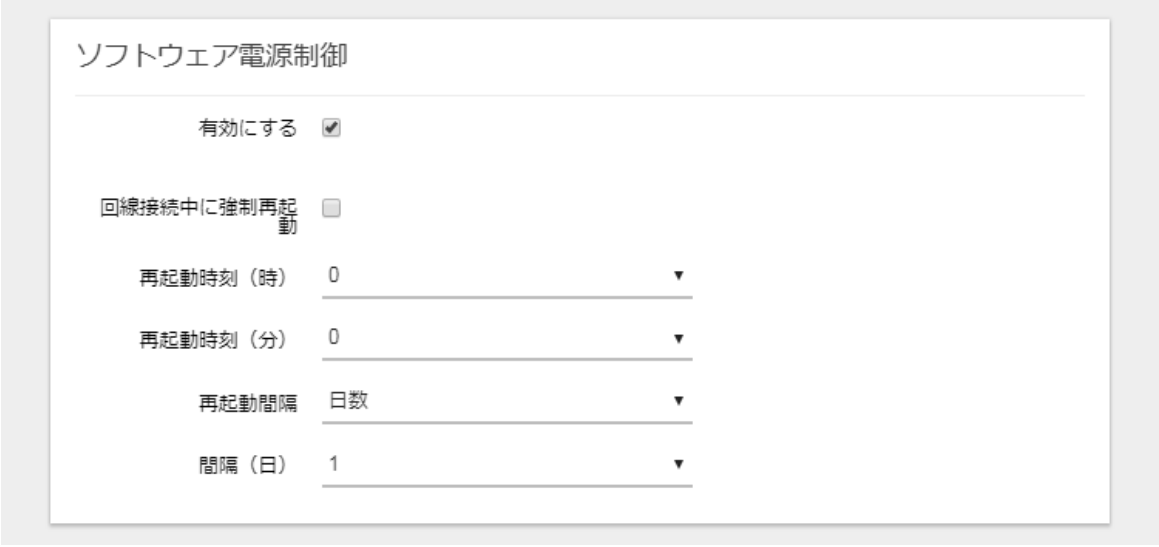
ハードウェア電源制御の動作説明

- 時刻を設定した場合、ハードウェア電源制御が有効になった時刻から、設定時刻に「間隔（日）」の回数到達する時刻に再起動します。
- 時刻を設定しない場合、ハードウェア電源制御が有効になった時刻から、「間隔（日）×24 時間」後に再起動します。



2-5-2 ソフトウェア電源制御（日数）

- システムの時刻で指定された時刻に日数をカウントし、再起動を行います。
- ソフトウェア電源制御では、PPP の回線接続状態を監視できます。

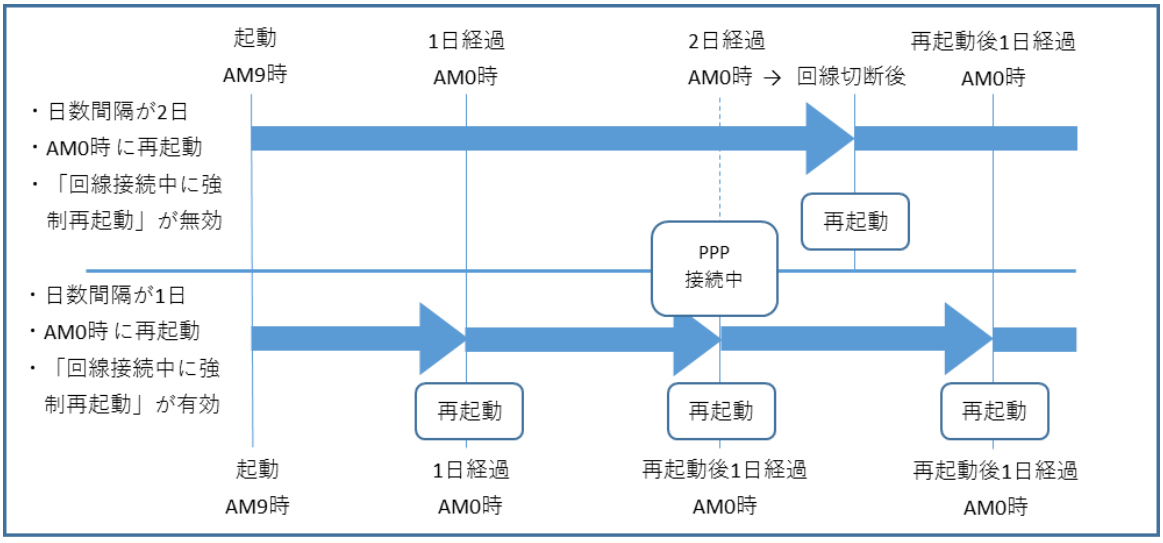


設定項目の説明

項目	内容
有効にする	ソフトウェア電源制御が有効になります。
回線接続中に強制再起動	有効にした場合、PPP 回線が接続中の場合でも強制的に再起動を行います。 無効の場合、PPP 回線が切断されるのを待ちます。
再起動時刻（時）	再起動を行う時刻を指定できます。 0 時～23 時を指定できます。
再起動時刻（分）	再起動を行う時刻を指定できます。 0 分～59 分を指定できます。
再起動間隔	再起動を行う間隔を「日数」または「曜日指定」の 2 つを指定できます。
間隔（日）	指定した日数経過すると再起動を行います。

ソフトウェア電源制御（日数）の動作説明

- 起動したタイミングに関わらず、指定時刻に再起動します。
- 「回線接続中に強制再起動」が無効な場合、再起動のタイミングで PPP が接続中の場合は PPP の切断を待ってから再起動します。



2-5-3 ソフトウェア電源制御（曜日指定）

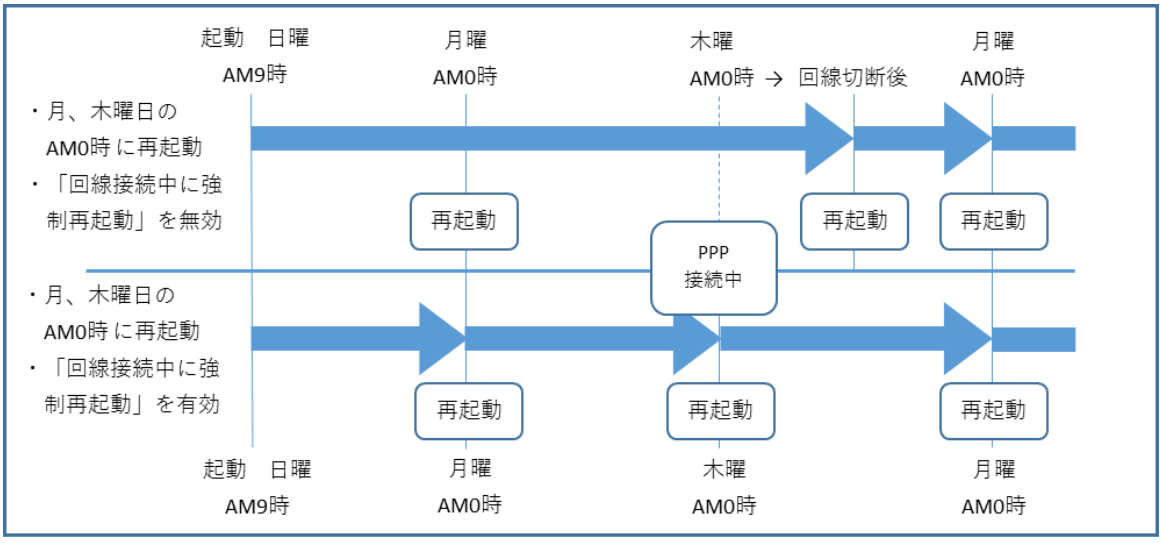
- システムの時刻を利用して指定された曜日・時刻に再起動を行います。

設定項目の説明

項目	内容
有効にする	ソフトウェア電源制御が有効になります。
回線接続中に強制再起動	有効にした場合、PPP 回線が接続中の場合でも強制的に再起動を行います。 無効の場合、PPP 回線が切断されるのを待ちます。
再起動時刻（時）	再起動を行う時刻を指定できます。 0 時～23 時を指定できます。
再起動時刻（分）	再起動を行う時刻を指定できます。 0 分～59 分を指定できます。
再起動間隔	再起動を行う間隔を「日数」または「曜日指定」の 2 つを指定できます。
間隔（曜日）	指定した曜日に再起動を行います。

ソフトウェア電源制御（曜日）の動作説明

- 指定した曜日・時刻に再起動を行います。
- ソフトウェア電源制御が有効になってから次の「間隔（曜日）」の設定時刻に再起動します。
- 「回線接続中に強制再起動」が無効な場合、再起動のタイミングで PPP が接続中の場合は PPP の切断を待ってから再起動します。



2-6 おやすみモード

概要

［システム］－［おやすみモード］ページについて説明します。

おやすみモードは本装置をスリープ状態にすることで動作中の機能が停止し、消費電力を下げることができます。おやすみモードページでは、スリープ状態への移行条件を設定できます。

memo	スリープ状態へ移行すると全機能が停止する為、下記アクションが発生するまで本装置は操作できなくなります。 タイマーモード　：　SMS の受信 スケジュールモード　：　スケジュールで指定したレジューム時刻、又は SMS の受信
	【おやすみモードの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=sleep

2-6-1　タイマーモード

- タイマーモードを設定すると PPP の切断状態が一定時間続いた場合におやすみモードへ移行します。

memo	「3-2Bacsoft IoT Platform」の設定が有効な場合、おやすみモードに移行しません。
	モバイル通信の接続設定が未設定の場合、おやすみモードに移行しません。 「4-2 モバイル」の接続設定を行ってください。
	通信モジュールのソフトウェアバージョンが「11-15」以前の場合、利用できません。 「1-1-2 通信ボード」をご確認ください。

!	タイマーモードは SMS 着信でおやすみモードから復帰します。 SMS が利用できない SIM の場合、おやすみモードから復帰できず、本装置が操作できなくなります。 必ず SMS が利用可能な SIM で「4-2 モバイル」の接続設定を行ってください。

設定項目の説明

項目	内容
おやすみモードを有効にする	おやすみモードへの移行が有効になります。
動作モード	おやすみモードへの移行条件を設定できます。 タイマーモード　：PPP の切断状態が一定時間続くと移行します。 スケジュールモード：指定した曜日、時間に移行します。
サスペンドまでの待機時間（分）	タイマーモードで有効な設定で、本項目で指定した時間、PPP の切断状態が続くとおやすみモードへ移行します。

2-6-2　スケジュールモード

- 指定した曜日・時刻の間、おやすみモードへ移行します。
- おやすみモード移行中に SMS を受信した場合、一時的に復帰します。

タブ項目の説明

項目	内容
スケジュール	スケジュールの詳細設定を行うページを表示します。

設定項目の説明

項目	内容
おやすみモードを有効にする	おやすみモードへの移行が有効になります。
動作モード	おやすみモードへの移行条件を設定できます。 タイマーモード　：PPP の切断状態が一定時間続くと移行します。 スケジュールモード：指定した曜日、時間に移行します。

スケジュールモード(スケジュール設定一覧)

- 現在のスケジュール情報を表示します。

タブ項目の説明

項目	内容
一般設定	おやすみモードの有効、無効、モード選択を行うページを表示します。

スケジュール一覧の説明

項目	内容
サスペンド曜日	おやすみモードへ移行する曜日を表示します。
サスペンド時刻	おやすみモードへ移行する時刻を表示します。
レジューム曜日	おやすみモードから復帰する曜日を表示します。
レジューム時刻	おやすみモードから復帰する時刻を表示します。
編集	設定済みのスケジュールの編集が行えます。
消去	設定済みのスケジュールを削除できます。
追加	新たにスケジュールを追加できます。

スケジュールモード（スケジュールの設定）

- 追加・編集を押下するとスケジュールの設定画面を表示します。

スケジュール設定項目の説明

項目	内容
サスペンド曜日	おやすみモードへ移行する曜日を指定できます。 日曜日～土曜日を設定できます。
サスペンド時刻	おやすみモードへ移行する時刻が指定できます。 00:00～23:59 を設定できます。
レジューム曜日	おやすみモードから復帰する曜日を指定できます。 日曜日～土曜日を設定できます。
レジューム時刻	おやすみモードから復帰する時刻が指定できます。 00:00～23:59 を設定できます。

2-7 パッケージ管理

概要

［システム］－［パッケージ管理］ページについて説明します。

パッケージ管理画面では、本装置のファームウェアや、本装置上で動作するプログラムパッケージを管理できます。サン電子が提供するパッケージの他、お客様が作成された独自のパッケージをインストール、アンインストールできます。

memo	パッケージのインストール／アンインストールを行った場合、再起動が必要です。 回線状況などにより、ファイルアップロードに時間がかかる場合があります。 その場合は、正常な結果が表示されない場合があります。
	【パッケージのインストール方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=package

ボタンの説明

項目	内容
インストール	「ファイル選択エリア」で選択されたパッケージをインストールします。
アンインストール	選択されたパッケージをアンインストールします。

設定項目の説明

項目	内容
パッケージのインストール	ファイル選択エリア： インストールするパッケージファイルを選択します。
パッケージの署名を無視する	パッケージの署名を無視します。 ※このチェックボックスにチェックを行うことで、パッケージ署名のない、パッケージもインストールできます。
パッケージのアンインストール	選択エリア： アンインストールするパッケージを選択します。

パッケージリストの表示内容

項目	内容
Current	現在システムが使用しているファームウェアの領域にインストールされたパッケージを表示します。
Another	現在システムが使用していないファームウェアの領域にインストールされたパッケージを表示します。

2-8 ブートエリア

概要

［システム］－［ブートエリア］ページについて説明します。

本装置には長期的に安定した動作を実現する為に、ファームウェアの領域を 2 つ持っています。

ブートエリアページでは、明示的に起動するブートエリアを変更できます。

> memo 本装置起動時にファームウェアの領域でエラーが発生した場合に、自動的に別の面のファームウェアを使用します。

現在のブートエリアの表示内容

項目	内容
現在のブートエリア	現在システムが使用しているブート領域を表示します。

設定項目の説明

項目	内容
ブートエリアの変更	別の面： 　現在システムが使用しているブート領域とは別の領域を選択します。 A 面： 　A 面を選択します。 B 面： 　B 面を選択します。

2-9 バックアップ

概要

［システム］－［バックアップ］ページについて説明します。

バックアップページでは、フラッシュメモリに保存された設定（起動時に適用されるコンフィグ）をバックアップファイルとしてダウンロードできます。

また、ダウンロードしたファイルを本装置にアップロードして設定の復元が行えます。

memo	「バックアップから復元する」を実行後、設定の反映は再起動後に行われます。
	【バックアップ機能の利用方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=backup

!	設定の復元を行うと、フラッシュメモリに保存された設定は上書きされます。

ボタンの説明

項目	内容
バックアップのダウンロード	フラッシュメモリに保存された設定ファイルをバックアップとしてダウンロードします。
アーカイブをアップロード	「バックアップのダウンロード」で取得した設定ファイルを本装置のフラッシュメモリに保存します。

設定項目の説明

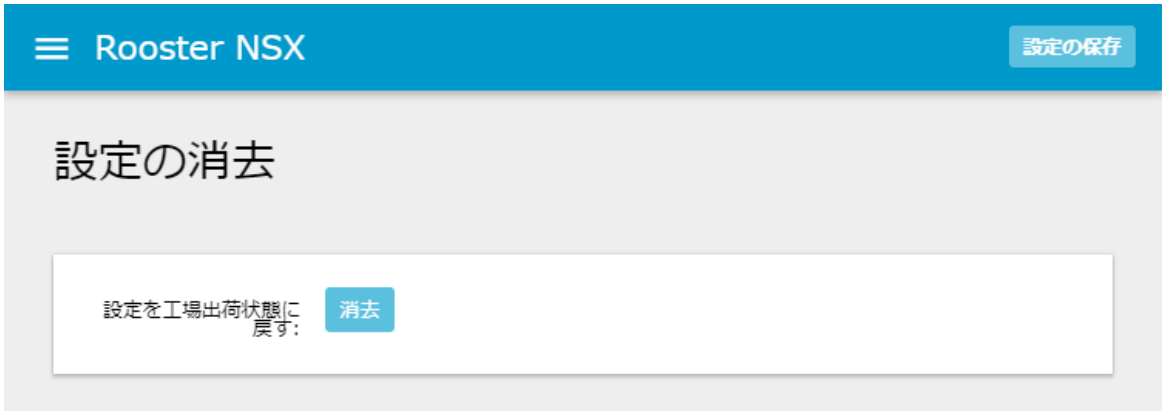
項目	内容
ファイルを選択	「バックアップのダウンロード」で取得したファイルを指定してください。

2-10 設定の消去

概要

［システム］－［設定の消去］ページについて説明します。

設定の消去ページでは、フラッシュメモリに保存された設定を全て消去し、工場出荷状態に初期化できます。



ボタン項目の説明

項目	内容
消去	設定を工場出荷状態へ戻します。

2-11 診断情報の取得

概要

［システム］－［診断情報の取得］ページについて説明します。
診断情報の取得ページでは、本装置の現在の情報をまとめたファイルを取得できます。

memo	取得できるファイルは、弊社解析用の特殊なファイルです。

!	使用状態により、取得ファイルが非常に大きくなることがあります。

ボタン項目の説明

項目	内容
ダウンロード	本装置で診断情報の収集が行われ、結果ファイルがダウンロードされます。

2-12 再起動 / シャットダウン

概要

［システム］－［再起動 / シャットダウン］ページについて説明します。

本装置の再起動とシャットダウンを行うことができます。

memo 再起動又はシャットダウンを実行すると、フラッシュメモリに保存されていない設定は破棄されます。設定の保存の実行が必要かご確認ください。

! 本装置を安全に終了させるため、電源を切る前に必ずシャットダウンを行ってください。
シャットダウン実行後、本装置の LED 状態を確認してから電源をお切りください。

ボタン項目の説明

項目	内容
再起動を実行	再起動します。
デバイスをシャットダウンする	シャットダウンします。

3章 サービス

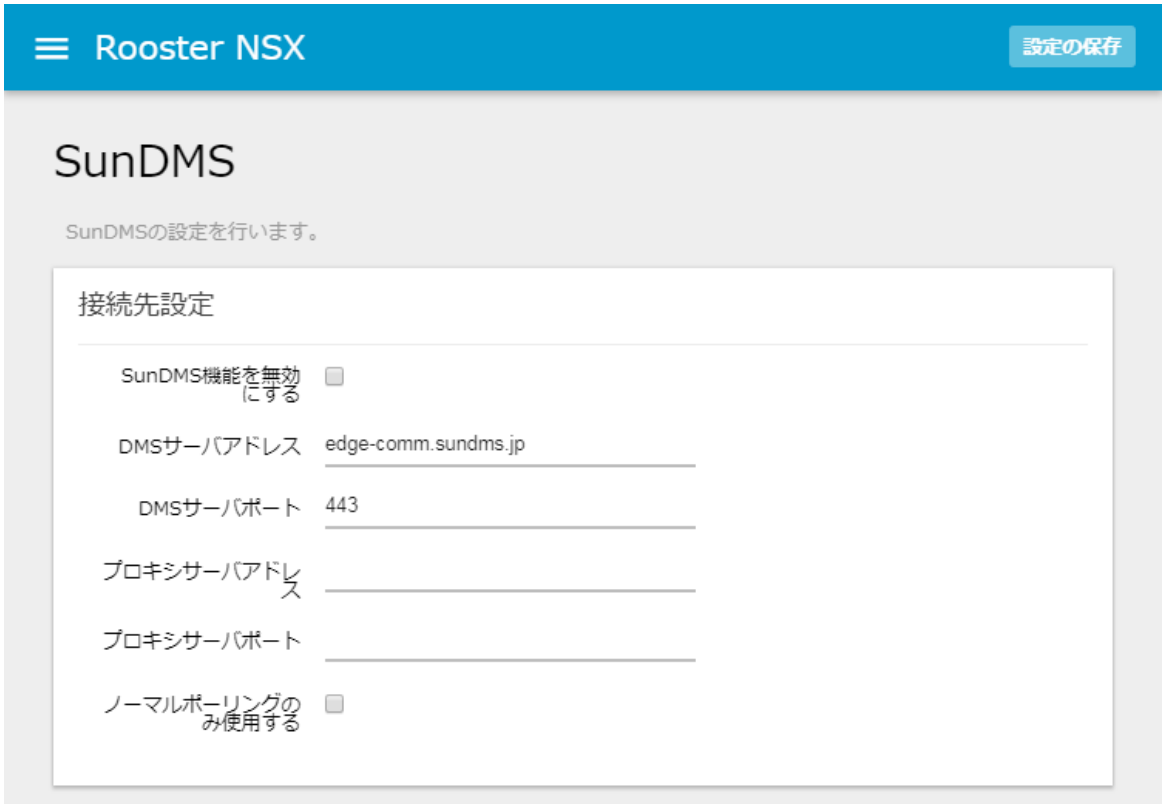
この章では、本装置が提供するソリューションサービス用の設定について説明します。

3-1 SunDMS

概要

［サービス］－［SunDMS］ページについて説明します。
SunDMS ページでは、本装置が SunDMS サーバへ接続を行う為の環境設定を変更できます。

memo	「SunDMS」は弊社が提供するサービスで、「デバイスの遠隔集中管理」に対応しています。 詳細については以下の URL をご覧ください。 https://www.sun-denshi.co.jp/sc/dms/
	【SunDMS の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=sundms



設定項目の説明

項目	内容
SunDMS 機能を無効にする	SunDMS エージェント機能が停止します。
DMS サーバアドレス	SunDMS サーバと接続する為のアドレスを設定できます。
DMS サーバポート	接続先ポート番号を設定できます。
プロキシサーバアドレス	プロキシサーバのアドレスを設定できます。
プロキシサーバポート	プロキシサーバのポート番号を設定できます。
ノーマルポーリングのみ使用する。	ノーマルポーリング設定で動作します。

3-2 Bacsoft IoT Platform

概要

［サービス］－［Bacsoft IoT Platform］ページについて説明します。
Bacsoft IoT Platform 設定ページでは Bacsoft IoT Platform の使用・不使用を設定できます。

「Bacsoft IoT Platform」は弊社が提供するサービスで、PLC（プログラマブルロジックコントローラ）および産業機器や様々なセンサーデバイスなどに対して「機器情報の収集、管理」、「機器の状態監視、異常通報」、「機器の制御」、「データ保存」等のサービスを提供しています。

詳細については、以下の URL をご覧ください。
https://www.sun-denshi.co.jp/sc/bacsoft/

※Bacsoft IoT Platform をご使用の際は、別途お申し込みが必要です。詳細につきましては、上記 URL もしくは、弊社営業部までお問い合わせください。

Bacsoft IoT Platform を利用する場合、以下機能が無効になります。
・Web 設定ツール、本装置の LED による信号強度の表示
・「2-1-2 時刻設定」のモバイルによる時刻調整機能
・「2-6 おやすみモード」のタイマーモード機能
・「4-3 プロファイル」の SMS コールバック機能

設定項目の説明

項目	内容
Bacsoft IoT Platform を使用する	Bacsoft IoT Platform を使用する場合、チェックします。

3-3 ダイナミックDNS

概要

［サービス］－［ダイナミック DNS］ページについて説明します。
ダイナミック DNS ページでは、suncomm.DDNS の環境設定を行うことができます。

memo	ダイナミック DNS サービス「suncomm.DDNS」は、固定 IP アドレスを取得する事なくドメイン名 （〇〇〇.suncomm.net）でインターネット上のサーバ等にアクセスする事を可能とする「Rooster（ルースター）」専用のサービス です。 詳細については、以下の URL を参照してください。 https://www.sun-denshi.co.jp/sc/ddns/
	【ダイナミック DNS の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=dynamicdns

ボタン項目の説明

項目	内容
編集	追加済みの設定を編集します。
消去	設定を消去します。
追加	設定を追加します。DDNS 設定名を入力後、押下ください。

設定項目の説明

項目	内容
有効	DDNS の設定を有効にします。
設定	DDNS の設定名を入力します。

基本設定

- suncomm.DDNS サービスを利用する為のユーザ名、パスワード設定等を行えます

設定項目の説明

項目	内容
有効	設定を有効にします。
Lookup ホスト名	登録した IP アドレスを確認する為のホスト名を設定します。
DDNS サービスプロバイダ	suncomm.DDNS を指定できます。 ※「手動設定」はサポートしない機能です。
ドメイン	IP アドレスの登録先のドメイン名を設定します。 suncomm.DDNS は「Lookup ホスト名」と「ドメイン」は同じ値を設定します。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。

詳細設定

- suncomm.DDNS サービスに登録する IP アドレス等の環境設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
IP アドレスソース	登録する IP アドレスの取得元を設定します。 「4-1-1 インターフェース一覧」ページのインタフェースを選択できるようになります。
ネットワーク	「4-1-1 インターフェース一覧」で設定されたインタフェースから登録する IP アドレスを取得します。
プロキシサーバ	プロキシサーバを指定できます。
ログ出力レベル	DDNS サービスのログ出力レベルを変更できます。

タイマー設定、ログファイルの表示の設定は、バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。

4章　ネットワーク

この章では、本装置のネットワーク設定について説明します。

4-1 インターフェース

概要

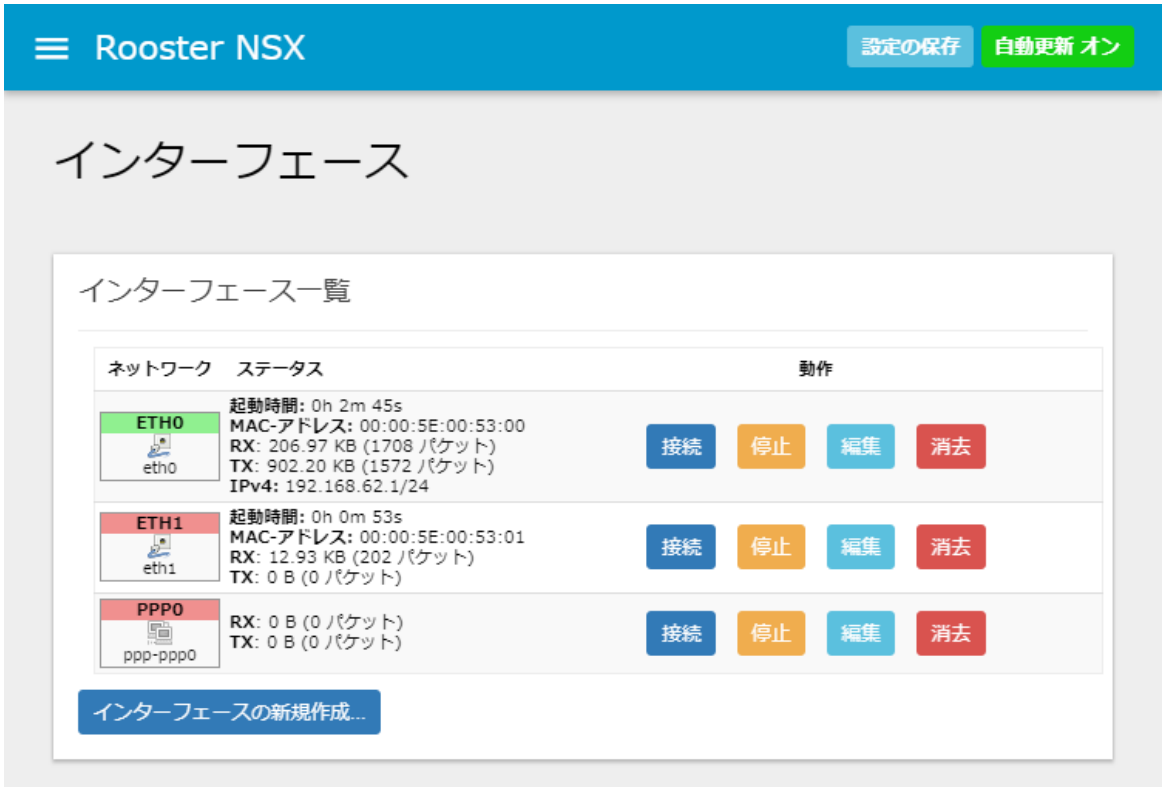
［ネットワーク］－［インターフェース］ページについて説明します。

LAN のアドレスやモバイル通信用のインタフェース設定を行えます。

プロトコル毎に設定が異なりますので、使用方法にあったページを参照ください。

4-1-1　インターフェース一覧

- 「インターフェース一覧」はインタフェースのステータス表示、インタフェースの追加・編集・削除、インタフェースの接続・切断が行えます。



ボタン項目の説明

項目	内容
接続	インタフェースを有効にし、ネットワークへ接続します。
停止	インタフェースを無効にし、ネットワークから切断します。
編集	インタフェースの設定を行います。
消去	インタフェースを削除します。
インターフェースの新規作成	インタフェースを追加します。

4-1-2 インターフェースの作成

- 「インターフェース一覧」ページの「インターフェースの新規作成」をクリックすると「インターフェースの作成」ページを表示します。
- プロトコルや紐付くインタフェースを設定できます。
- インタフェースの「一般設定」、「詳細設定」についてプロトコル別の説明を参照ください。

ボタン項目の説明

項目	内容
送信	入力した内容でインタフェースを作成します。

設定項目の説明

項目	内容
新しいインターフェースの名前	インタフェース名を設定します。
新しいインターフェースのプロトコル	インタフェースが使用するプロトコルを選択します。 詳細は「プロトコルの説明」を参照ください。
複数のインターフェースを指定してブリッジを作成します	複数のインタフェースを一つのインタフェースに統合してブリッジ接続する場合にチェックを入れます。
インターフェースの指定	インタフェースに対応したアダプタを選択するか、「新しいインターフェース」を選択してインタフェース名を設定します。 「複数のインタフェースを指定してブリッジを作成します」にチェックを入れた場合は、一つ以上のインタフェースを選択します。

プロトコルの説明

項目	内容
静的アドレス	IP アドレスを手動設定する場合に選択します。
DHCP クライアント	DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合に選択します。
Unmanaged	IPsec を使用する場合に選択します。
PPP	PPP でインターネットに接続する場合に選択します。
PPPoE	有線 WAN 回線を使用して PPP でインターネットに接続する場合に選択します。
VPN	PPTP、L2TP/IPsec を使用する場合に選択します。

4-1-3 プロトコル：静的アドレス

一般設定（静的アドレス）

- IP アドレスに関する設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	プロトコルを「静的アドレス」から変更する場合、他のプロトコルを選択します。
IPv4 アドレス	IP アドレスを設定します。
IPv4 ネットマスク	ネットマスクを設定します。 適切なネットマスクを選択するか、手動設定を選択してネットマスクを設定します。
IPv4 ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。
IPv4 ブロードキャスト	ネットワークのブロードキャストアドレスを設定します。
DNS サーバーを手動で設定	DNS サーバを設定します。

詳細設定（静的アドレス）

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインタフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
MAC アドレスを上書きする	インタフェースが使用する MAC アドレスを設定します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
MTU を上書きする	インタフェースの MTU 値を設定します。
ゲートウェイ・メトリックを使用する	ルーティングのメトリックを設定します。

4-1-4 プロトコル：DHCPクライアント

一般設定（DHCPクライアント）

- DHCP クライアントとして動作し、リクエスト時のホスト名を設定できます。

memo 【DHCP クライアントの設定方法】
https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=dhcp-client

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	「DHCP クライアント」から変更する場合は他のプロトコルを選択します。
DHCP リクエスト時に送信するホスト名	DHCP リクエスト時に送信するホスト名を設定します。

詳細設定（DHCPクライアント）

- DHCP クライアントの詳細設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインターフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
ブロードキャスト･フラグを使用する	ブロードキャスト・フラグをオンにします。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
デフォルトゲートウェイを使用する	デフォルトゲートウェイを追加します。 チェックされていない場合、追加しません。
ピアから通知された DNS サーバーを使用する	DHCP サーバから通知された DNS サーバを使用します。
DNS サーバーを手動で設定	「ピアから通知された DNS サーバーを使用する」のチェックを外すと表示・設定できます。 DNS サーバを設定します。
ゲートウェイ･メトリックを使用する	ルーティングのメトリックを設定します。
DHCP リクエスト時に送信するクライアント ID	DHCP リクエスト時に送信するクライアント ID を設定します ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
DHCP リクエスト送信時のベンダークラスを設定	DHCP リクエスト時に送信するベンダークラスを設定します ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
MAC アドレスを上書きする	インターフェースが使用する MAC アドレスを設定します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
MTU を上書きする	インターフェースの MTU 値を設定します。

4-1-5 プロトコル：PPP

一般設定（PPP）

- PPP でインターネット接続を行う為のプロファイル設定が行えます。
- 固定 IP アドレスを取得する設定が行えます。

memo	PPP 接続を行うには「4-2 モバイル」、「4-3 プロファイル」の設定が必要です。
	【PPP の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=ppp

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	「PPP」から変更する場合は他のプロトコルを選択します。
IP アドレス割り当て方法	IP アドレスの設定方法を選択します。 IPCP：サーバから割り当てられる IP アドレスを使用する場合に選択します。 Static：固定 IP アドレス、ネットマスクを設定する場合に選択します。
IP アドレス	IP アドレス割り当て方法に「Static」を選択すると表示・設定できます。 IP アドレスを設定します。
ネットマスク	IP アドレス割り当て方法に「Static」を選択すると表示・設定できます。 適切なネットマスクを選択するか、手動設定を選択してネットマスクを設定します。
プロファイル	プロファイル設定で設定したプロファイルが表示されます。 PPP 接続に使用するプロファイルを選択します。

詳細設定（PPP）

- PPP 接続後のインタフェースに関する設定ができます。

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインタフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
デフォルトゲートウェイを使用する	このインタフェースをデフォルトゲートウェイとするルート設定を追加します。 チェックされていない場合、追加しません。
ゲートウェイ・メトリックを使用する	「デフォルトゲートウェイを使用する」をチェックすると表示・設定できます。 ルーティングのメトリックを設定します。
ピアから通知された DNS サーバーを使用する	DHCP サーバから通知された DNS サーバを使用します。
DNS サーバーを手動で設定	「ピアから通知された DNS サーバーを使用する」のチェックを外すと表示・設定できます。 DNS サーバを手動で設定します。
MTU を上書きする	インタフェースの MTU 値を設定します。

4-1-6 プロトコル：PPPoE

一般設定（PPPoE）

- 有線 WAN 回線でインターネット接続を行う為の設定が行えます。

> 【PPPoE の設定方法】
> https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=pppoe

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	「PPPoE」から変更する場合は他のプロトコルを選択します。
PAP/CHAP ユーザー名	ISP 指定のユーザ名を設定します。
PAP/CHAP パスワード	ISP 指定のパスワードを設定します。
Access Concentrator	PPPoE で接続するアクセスコンセントレータの名前を設定します。
サービス名	PPPoE で接続するサービス名を設定します。

詳細設定（PPPoE）

- PPP 接続後のインタフェースに関する設定ができます。

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインタフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。
デフォルトゲートウェイを使用する	デフォルトゲートウェイを使用します。チェックされていない場合、デフォルトルートを設定しません。
ゲートウェイ・メトリックを使用する	「デフォルトゲートウェイを使用する」をチェックすると表示・設定できます。 ルーティングのメトリックを設定します。
ピアから通知された DNS サーバーを使用する	サーバから通知された DNS サーバを使用します。
DNS サーバーを手動で設定	「ピアから通知された DNS サーバーを使用する」のチェックを外すと表示・設定できます。 DNS サーバーを設定します。
LCP echo 失敗数しきい値	切断動作をするまでの連続失敗回数を設定します。
LCP echo 送信間隔	LCP Echo Request の送信間隔（秒）を設定します。
無通信監視時間	指定した秒数の間、データ通信が行われない場合に接続を切断します。空欄の場合や「0」を設定した場合は無通信監視を行いません。
MTU を上書きする	インタフェースの MTU 値を設定します。

4-1-7 プロトコル：VPN

一般設定（VPN）

- PPTP、L2TP / IPsec で使用するインタフェースで、設定項目はありません。

memo	PPTP サーバ、L2TP / IPsec サーバを使用するには「4-10PPTP サーバ」、「4-11L2TP/IPsec サーバ」、「4-7 ファイアウォール」の設定が必要です。
	【PPTP サーバの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=pptp
	【L2TP / IPsec サーバの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=l2tp-ipsec

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	「VPN」から変更する場合は他のプロトコルを選択します。

詳細設定（VPN）

- PPTP、L2TP / IPsec で使用するインタフェースで、設定項目はありません。

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインタフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。

4-1-8 プロトコル：Unmanaged

一般設定（Unmanaged）

- IPsec で使用するインタフェースで、設定項目はありません。

memo	IPsec を使用するには「4-9IPsec」、「4-7 ファイアウォール」の設定が必要です。
	【IPsec の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=ipsec

設定項目の説明

項目	内容
プロトコル	「Unmanaged」から変更する場合は他のプロトコルを選択します。

詳細設定（Unmanaged）

- IPsec で使用するインタフェースで、設定項目はありません。

設定項目の説明

項目	内容
デフォルトで起動する	システム起動時にインタフェースを作成します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。設定を変更しないで下さい。

4-1-9 ファイアウォール設定

ファイアウォール設定（全プロトコル共通）

- インタフェースが使用するファイアウォール設定を選択、又は新規作成が行えます。

> memo ファイアウォールの詳細は、「4-7 ファイアウォール」を参照ください。

設定項目の説明

項目	内容
ファイアウォールゾーンの作成 / 割り当て	インタフェースに設定するファイウォールのゾーン設定を選択します。 lan： LAN 側インタフェースとして使用する場合に選択します。 wan： WAN 側インタフェースとして使用する場合に選択します。 設定しない -又は- 作成： 設定済みのゾーンを削除する場合に選択します。 作成に名前を入力すると、新たなゾーンを作成します。

4-1-10 DHCPサーバー

- プロトコルに「静的アドレス」を選択したインタフェースは、DHCP サーバの待ち受けインタフェースとして設定できます。

> DHCP サーバの設定は「4-4DHCP 及び DNS」で行えます。

ボタン項目の説明

項目	内容
DHCP サーバーを設定	DHCP サーバの待ち受けインタフェースになります。

一般設定

- このインタフェースがリースする IP アドレスの範囲、リース時間の設定が行えます。

> memo IP アドレスの固定割り当ての設定は「4-4 DHCP 及び DNS」で行えます。

設定項目の説明

項目	内容
インターフェースを無視する	DHCP サーバの待ち受けインタフェースの対象外になります。
開始	リース開始 IP アドレスを設定します。
終了	リース最終 IP アドレスを設定します。
リース時間	IP アドレスのリース時間を設定します。

詳細設定

- IP アドレスのリースに関するオプション設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
ダイナミック DHCP	一般設定で行った IP アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスをリースします。 チェックを外すと静的リースのみ行います。 ※静的リースの設定は「4-4 DHCP 及び DNS」で行えます。
IPv4-ネットマスク	クライアントへ通知するネットマスクを設定します。 「4-1-3 プロトコル：静的アドレス」のネットマスク設定と異なるネットマスクを通知する場合に設定します。
DHCP オプション	DHCP オプションを設定します。下記のフォーマットで設定します。詳細については RFC2132 を参照してください。 コード,値

4-2 モバイル

概要

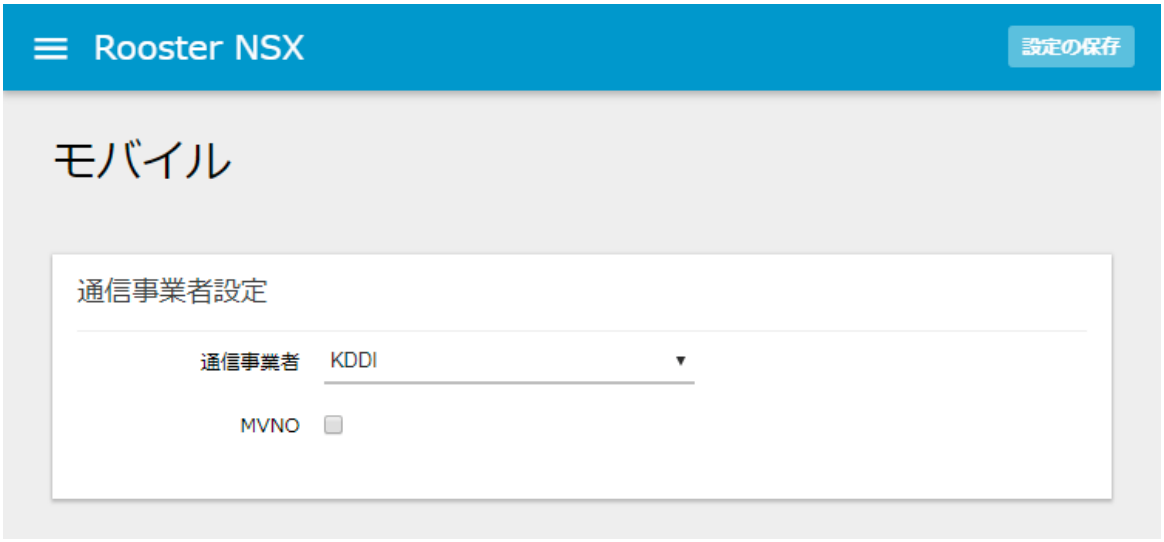
［ネットワーク］－［モバイル］ページについて説明します。

使用する SIM の通信事業者を設定できます。

memo	PPP 接続を行うには「4-1-5 プロトコル：PPP」、「4-3 プロファイル」の設定が必要です。
	【PPP の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=ppp

4-2-1 通信事業者選択

- SIM の通信事業者を選択できます。



設定項目の説明

項目	内容
通信事業者	SIM の通信事業者を選択します。
MVNO	「通信事業者」で KDDI、ソフトバンクを選択した場合に表示・設定できます。 MVNO SIM を使用する場合はチェックを入れます。

通信事業者設定の説明

項目	内容
NTT ドコモ	MVNO を含む NTT ドコモの SIM を使用する場合に選択します。
KDDI	KDDI の SIM を使用する場合に選択します。
ソフトバンク	ソフトバンクの SIM を使用する場合に選択します。
ローミング	ローミング用の SIM を使用する場合に選択します。

4-2-2 接続先通信事業者選択

- ローミングの SIM の場合、接続先の通信事業者を選択できます。

設定項目の説明

項目	内容
接続先通信事業者	接続先の通信事業者を選択します。

接続先通信事業者設定の説明

項目	内容
自動	自動的に通信事業者を選択します。
NTT ドコモ	NTT ドコモのネットワーク（44010）に接続します。
KDDI	KDDI のネットワーク（44051）に接続します。
ソフトバンク	ソフトバンクのネットワーク（44020）に接続します。

ASC設定の説明

項目	内容
ASC	自律接続維持システム（ASC）を有効にします。 ASC はモバイル通信環境のネットワークへの接続状態を確認し、一定時間接続が行えなかった場合に通信モジュールの再起動を行うことでネットワーク接続の復旧を試みます。

memo ASC は常時接続の設定を行っている場合に有効です。

4-3 プロファイル

概要

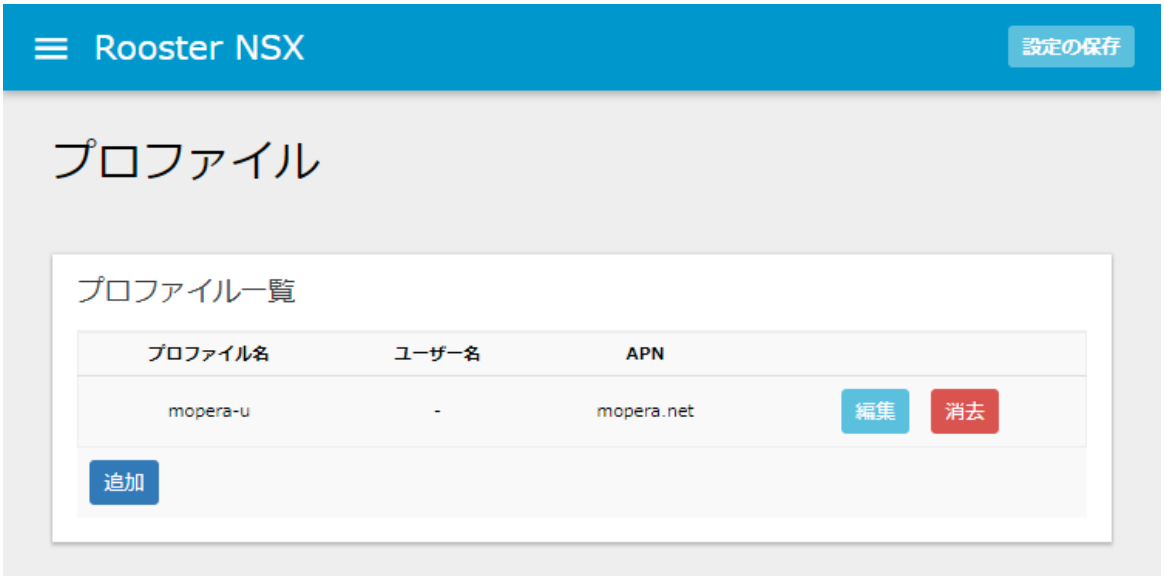
［ネットワーク］－［プロファイル］ページについて説明します。

PPP 接続用のプロファイルに関する設定が行えます。

memo	PPP 接続を行うには「4-1-5 プロトコル：PPP」、「4-2 モバイル」の設定が必要です。
	【PPP の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=ppp

4-3-1 プロファイル一覧

- プロファイルの新規登録、登録済みプロファイルの修正・削除を選択できます。



ボタン項目の説明

項目	内容
編集	登録済みのプロファイルを編集します。
削除	登録済みのプロファイルを削除します。
追加	プロファイルを新規に登録します。

プロファイル一覧の表示内容

項目	内容
プロファイル名	登録済みのプロファイル名を表示します。
ユーザー名	PPP 接続時の認証に使用するユーザ名を表示します。
APN	PPP 接続先の APN を表示します。

4-3-2 プロファイル設定

- PPP 接続時の接続先、ユーザ名等の情報を設定できます。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダ（以下 ISP）等から提供された情報をあらかじめ用意してください。

設定項目の説明

項目	内容
プロファイル名	プロファイルの名前を設定します。
ユーザー名	通信事業者指定のユーザ名を設定します。指定がない場合、入力は不要です。
パスワード	通信事業者指定のパスワードを設定します。指定がない場合、入力は不要です。
APN	通信事業者指定の APN を設定します。
プロトコル種別	通信事業者指定のプロトコルを選択します。指定がない場合、「IP」を選択してください。
認証プロトコル	通信事業者指定の認証プロトコルを選択します。指定がない場合、「自動」を選択してください。 自動：認証先の認証方法にあわせます。 CHAP：認証に CHAP を使用します。 PAP：認証に PAP を使用します。
接続	PPP 接続の発信方法を選択します。 常時接続： 自動接続します。回線が切断された場合には自動で再接続処理を行います。 手動接続： 自動接続を行いません。PPP 接続の都度、発信・切断処理が必要です。 オンデマンド接続： LAN 側機器や本装置のサービスによる発信要求があった場合に接続します。
LCP echo キープアライブ機能を有効にする	LCP Echo Request による疎通確認を行います。
LCP echo 失敗数しきい値	「LCP echo キープアライブ機能を有効にする」にチェックを入れると表示・設定できます。 切断動作をするまでの連続失敗回数を設定します。
LCP echo 送信間隔	「LCP echo キープアライブ機能を有効にする」にチェックを入れると表示・設定できます。 LCP Echo Request の送信間隔（秒）を設定します。
無通信監視時間	指定した秒数の間、データ通信が行われない場合に回線接続を切断します。 空欄の場合や「0」を設定した場合は無通信監視を行いません。
SMS コールバック	本装置が SMS を受信すると回線接続を行います。
KDDI CRG を使用する	KDDI CRG からの SMS を受信すると回線接続を行います。 「SMS コールバック」にチェックを入れると表示・設定できます。 KDDI のクローズド リモート ゲートウェイ（CRG）で利用する場合、設定してください。

4-4 DHCP 及び DNS

概要

［ネットワーク］-［DHCP 及び DNS］ページについて説明します。

DHCP 及び DNS 設定ページでは、DHCP サーバ及び、DNS に関する設定を行う事ができます。

> memo DHCP サーバの待ち受けインタフェースの設定は「4-1-10DHCP サーバー」で行います。

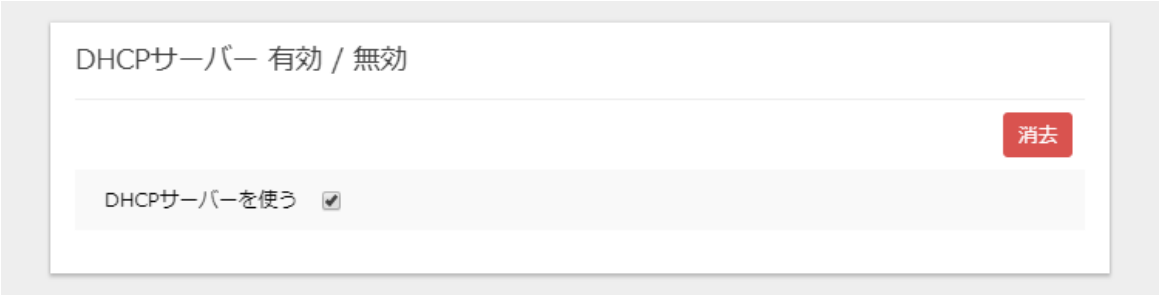
DHCPサーバー有効/無効

- DHCP サーバ機能を停止する設定を追加できます。

ボタン項目の説明

項目	内容
追加	DHCP サーバを有効／無効の切り替え設定を行えるようになります。

追加を押下後の画面



設定項目の説明

項目	内容
DHCP サーバーを使う	DHCP サーバ機能の有効／無効が設定できます。 チェックを外すと DHCP サーバ機能が停止します。

サーバー設定（一般設定）

- DHCP サーバ及び DNS サーバの設定ができます。

設定項目の説明

項目	内容
ドメイン必須	ドメインのないリクエストは上位の DNS サーバへ転送しません
Authoritative	ローカルネットワーク内のみの DHCP として使用します。
ローカルサーバー	ローカルドメインに一致した問い合わせを転送する DNS サーバを設定します。
ローカルドメイン	ローカルドメインを設定します。
ログクエリー	受信した DNS リクエストを syslog へ記録します
DNS フォワーディング	問い合わせを転送する DNS サーバを設定します。
DNS リバインディング・プロテクション	RFC1918 の応答を破棄します。
ローカルサービスのみ	同一ローカルネットワークからの問い合わせのみ応答するようになります。
Non-wildcard	※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。

サーバー設定（詳細設定）

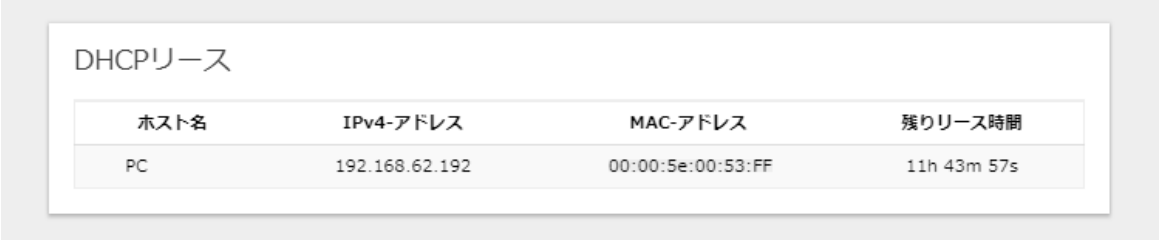
- DHCP サーバ及び DNS サーバの設定ができます。

サーバー設定セクション【詳細設定タブ】

項目	内容
ロギングを抑制する	DHCP 要求等のシステムログ出力を一部停止します
順に IP アドレスを割り当てる	最も小さな IP アドレスから順にクライアントへ割り当てます。
プライベートフィルター	ローカルネットワークへの逆引きを転送しません。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
Filter useless	パブリック DNS サーバが返答できなかったリクエストを転送しません。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
ローカライズクエリ	※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
拡張ホスト設定	「4-5 ホスト名」の名前にローカルドメインを追加します。
ネガティブキャッシュを行わない	無効なリプライをキャッシュしません。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
追加のサーバーファイル	DNS サーバの問い合わせ先を追加します。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
問い合わせの制限	※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
偽の NXDOMAIN を無視する	※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
DNS サーバーポート	DNS クエリを受信するポートを設定します。
DNS クエリポート	DNS クエリを送信する送信元ポートを固定します。
最大 DHCP リース	リースする IP アドレスの最大数を設定します。
最大 EDNS0 パケットサイズ	EDNS.0 パケットサイズの許可される最大値を設定します。
最大並列処理クエリ	DNS クエリを最大いくつまで並列に処理するか設定します。

アクティブなDHCPリース

- DHCP サーバのリース情報を表示します。



DHCPリースの表示内容

項目	内容
ホスト名	リース先のホスト名です。
IPv4-アドレス	リースしたアドレスです。
MAC-アドレス	リース先の MAC アドレスです。
残りリース時間	リースしたアドレスが無効になるまでの残り時間です。

静的リース

- IP アドレスの固定割り当て設定を追加できます。

設定項目の説明

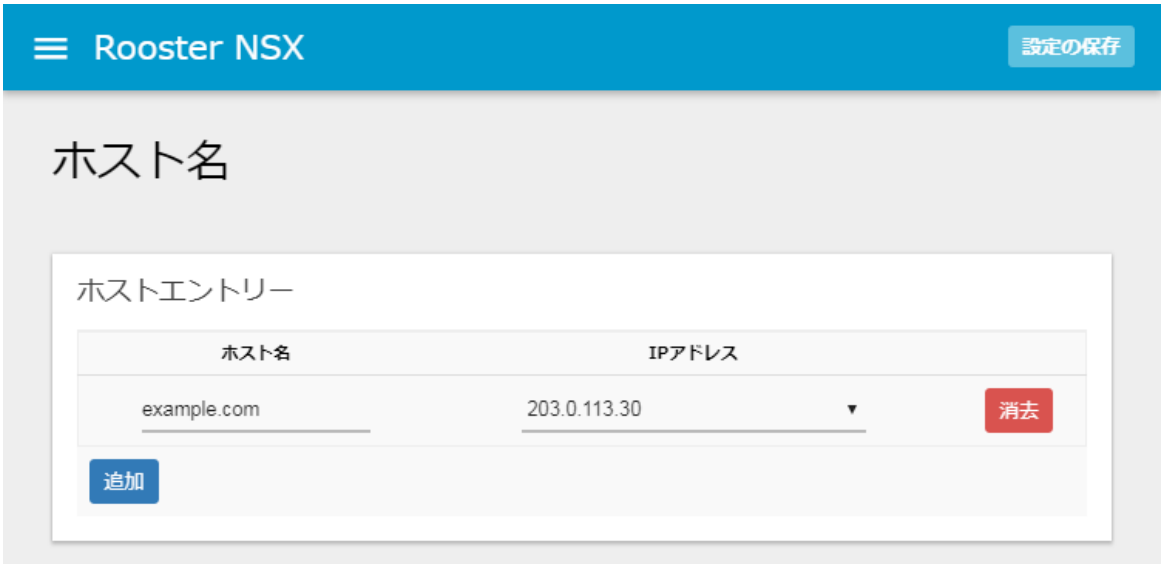
項目	内容
ホスト名	IP アドレスの固定割り当てを行うホスト名を設定します。
MAC-アドレス	IP アドレスの固定割り当てを行う MAC アドレスを設定します。
IPv4-アドレス	割り当てる IP アドレスを設定します。
リース時間	IP アドレスの割り当て期間を設定します。

4-5 ホスト名

概要

［ネットワーク］－［ホスト名］ページについて説明します。

本装置上で名前解決を行うホスト名を設定できます。



設定項目の説明

項目	内容
ホスト名	名前解決に使用するホストの名前を設定します。
IP アドレス	ホスト名の IP アドレスを設定します。

4-6 静的ルーティング

概要

［ネットワーク］－［静的ルーティング］ページについて説明します。
静的ルーティングページでは、静的ルーティング設定及びルートセレクタの設定を行えます。

4-6-1 IPv4静的ルーティング

- 静的ルーティングを追加できます。

> memo インタフェースを指定するには、先に「4-1 インターフェース」を設定する必要があります。

IPv4静的ルーティング設定

IPv4静的ルーティング設定

ボタン項目の説明

項目	内容
追加	ルーティング設定を追加できます。
消去	ルーティング設定を消去できます。

設定項目の説明

項目	内容
インタフェース	ルーティングで使用するインタフェースを設定します。 「4-1 インターフェース」の設定が対象となります。
ターゲット	宛先ネットワークアドレスを設定します。
IPv4 ネットマスク	ネットマスクを設定します。
IPv4 ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
メトリック	メトリックを設定します。
MTU	MTU を設定します
テーブル	ルーティングテーブルを設定します。 ルーティングテーブルを指定した場合、通常のルーティングでは使用されず、 ルートセレクタと併用して設定することになります。
タイプ	特別なルーティングを設定する為の項目です。 Not specified：通常のルーティング設定です。 Unreachable：Destination Unreachable を応答するようになります。 Blackhole：パケットを破棄するようになります。

4-6-2 ルートセレクタ

- ルートセレクタでパケット毎に参照するルーティングテーブルを指定できます。
- 静的ルーティング設定で、ルーティングテーブルを指定した経路が追加できます。

ルートセレクタ設定

ルートセレクタ設定

ボタン項目の説明

項目	内容
追加	ルートセレクタ設定を追加できます。
消去	ルートセレクタ設定を消去できます。

設定項目の説明

項目	内容
priority	ルートセレクタの優先度設定を行えます。
送信元 IP とネットマスク	送信元の IP アドレス又はネットワークアドレスを設定します。
送信先 IP とネットマスク	送信先の IP アドレス又はネットワークアドレスを設定します。
受信インタフェース	ルートセレクタの対象とする受信インタフェースを設定します。
TOS	IP ヘッダに含まれる TOS フィールドの 4~7bit を 16 進数で指定します。
経路テーブル	本設定が参照するルーティングテーブルを設定します。

4-7 ファイアウォール

概要

［ネットワーク］－［ファイアウォール］ページについて説明します。

ファイアウォールページでは IP フィルタリング、MAC フィルタリング、NAT、コネクション追跡等の設定が行えます。

memo	【ファイアウォールの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=filter
	【MAC アドレスによるファイアウォールの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=mac-filter

4-7-1 一般設定

- 一般設定画面では、デフォルトポリシー及びゾーンの設定を行うことができます。
- ゾーンの設定はゾーンに含まれるインタフェースを対象とした設定です。

タブ項目の説明

項目	内容
ポートフォワーディング	Destination NAT の設定ページを表示します。
トラフィック・ルール	フィルタリングルールの設定ページを表示します。

設定項目の説明

項目	内容
SYN-Flood プロテクションを有効にする。	SYN-Flood 攻撃を防ぎます。
無効なパケットを遮断する。	無効なパケットに対するコネクション追跡を行いません。 ※バージョン 1.5.0 ではサポートしない機能です。
受信	受信のデフォルトポリシーを設定します。 許可：パケットを受信します。 拒否：受信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：受信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
送信	送信のデフォルトポリシーを設定します。 許可：パケットを送信します。 拒否：送信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：送信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
転送	転送のデフォルトポリシーを設定します。 許可：パケットを転送します。 拒否：転送パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：転送パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）

4-7-2 ゾーン設定

- ゾーン設定ではゾーンに含まれるインタフェースの送信、受信、転送のポリシー設定ができます。

> memo
> 1 つのインタフェースが複数のゾーンに属することは出来ません。
> ゾーンのパケットログ記録を有効に設定すると、スループット等のパフォーマンスに影響を及ぼします。

ゾーンの表示内容

項目	内容
ゾーン⇒転送	ゾーン間の転送設定の状態を表示します。 「受信ゾーン ⇒ 転送先ゾーン」の表示です。 ゾーン間の転送が許可されていない場合、デフォルトポリシーに従います。

ボタン項目の説明

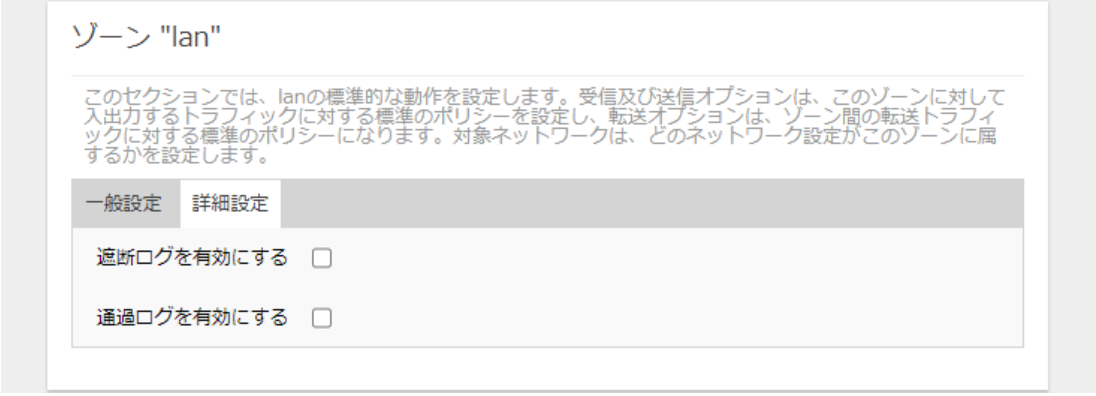
項目	内容
追加	ゾーンを追加できます。
編集	ゾーン設定の詳細設定が行えます。
消去	ゾーン設定を消去できます。 ゾーンが削除されたインタフェースはデフォルトポリシーに従います。

設定項目の説明

項目	内容
受信	ゾーンに含まれるインタフェースの受信ポリシーを設定します。 許可：パケットを受信します。 拒否：受信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：受信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
送信	ゾーンに含まれるインタフェースの送信ポリシーを設定します。 許可：パケットを送信します。 拒否：送信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：送信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
転送	ゾーンに含まれるインタフェースの転送ポリシーを設定します。 許可：パケットを転送します。 拒否：転送パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：転送パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
マスカレード	マスカレードが有効になります。 転送パケットの送信元 IP 書き換えを行います。
MSS クランプ	MSS（Maximum Segment Size）を自動的に調整します。

ゾーンの詳細設定

- ゾーン間の転送設定や、ゾーンに含まれるインタフェースの送信、受信、転送のポリシー設定が行えます。



ゾーンの詳細設定項目「一般設定」タブの説明

項目	内容
名前	ゾーンの名前を設定します。
受信	ゾーンに含まれるインタフェースの受信ポリシーを設定します。 wan ゾーンの対象ネットワークが eth1、ppp0 の場合、受信の許可を行うと eth1、ppp0 の受信が可能になります。 許可：パケットを受信します。 拒否：受信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：受信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
送信	ゾーンに含まれるインタフェースの送信ポリシーを設定します。 wan ゾーンの対象ネットワークが eth1、ppp0 の場合、送信の許可を行うと eth1、ppp0 の送信が可能になります。 許可：パケットを送信します。 拒否：送信パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：送信パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
転送	ゾーンに含まれるインタフェースの転送ポリシーを設定します。 wan ゾーンの対象ネットワークが eth1、ppp0 の場合、転送の許可を行うと eth1 と ppp0 間の転送が可能になります。 eth0 と eth1 間の転送は、「内部ゾーン転送」設定を行う必要があります。 許可：パケットを転送します。 拒否：転送パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：転送パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません）
マスカレード	マスカレードが有効になります。 転送パケットの送信元 IP 書き換えを行います。
MSS クランプ	MSS（Maximum Segment Size）を自動的に調整します。
対象ネットワーク	ゾーンに属するインタフェースを指定します。

ゾーンの詳細設定「詳細設定」タブの説明

- パケットログ記録の有効・無効を切り替えることができます。

ゾーンの詳細設定項目「詳細設定」の説明

項目	内容
遮断ログを有効にする	パケット遮断ログ記録機能が有効になります。 対象のゾーンで遮断したパケットをログに記録します。
通過ログを有効にする	パケット通過ログ記録機能が有効になります。 対象のゾーンを通過したパケットをログに記録します。

内部ゾーン転送設定項目の説明

- ゾーン間の転送設定です。
- 同一ゾーンに含まれるインタフェース間の転送は、ゾーンの転送ポリシーに従います。

memo ゾーン間の転送設定を行っていない場合、デフォルトポリシーに従います。

項目	内容
宛先ゾーンへの転送を許可する	ゾーンが受信したパケットを、別のゾーンへ転送することを許可します。
送信元ゾーンからの転送を許可する	別のゾーンから転送されてくるパケットを許可します。

4-7-3 ポートフォワーディング設定

- Destination NAT（以下 DNAT）設定の一覧表示と設定追加、編集、削除、優先度の変更が行えます。

タブ項目の説明

項目	内容
一般設定	デフォルトポリシー、ゾーンの設定ページを表示します。
トラフィック・ルール	フィルタリングルールの設定ページを表示します。

ボタン項目の説明

項目	内容
ソート	優先度の変更が行えます。ポートフォワーディング設定一覧の上から順に優先度が高くなっており、上下のアイコンで優先度を変更します。
編集	DNAT の設定を変更します。
消去	DNAT のルールを削除します。
追加	DNAT のルールを追加します。

設定項目の説明

項目	内容
有効	設定を有効化します。
名前	DNAT の設定名です。
プロトコル	DNAT の対象になるプロトコルを指定します。
外部ゾーン	DNAT の対象にするパケットの受信ゾーンを指定します。 詳細設定の「送信元ゾーン」です。
外部ポート	DNAT の対象にする宛先ポート番号を指定します。
内部ゾーン	DNAT のルールでパケットの宛先 IP アドレス、ポートを書き換えた後、送信先のゾーンを指定します。
内部 IP アドレス	書き換え後の宛先 IP アドレスを指定します。
内部ポート	書き換え後の宛先ポート番号を指定します。

ポートフォワーディングの詳細設定

- 送信元、宛先等を指定して DNAT が行えます。

ボタン項目の説明

項目	内容
Rule is enabled	設定の有効、無効を切り替えます。

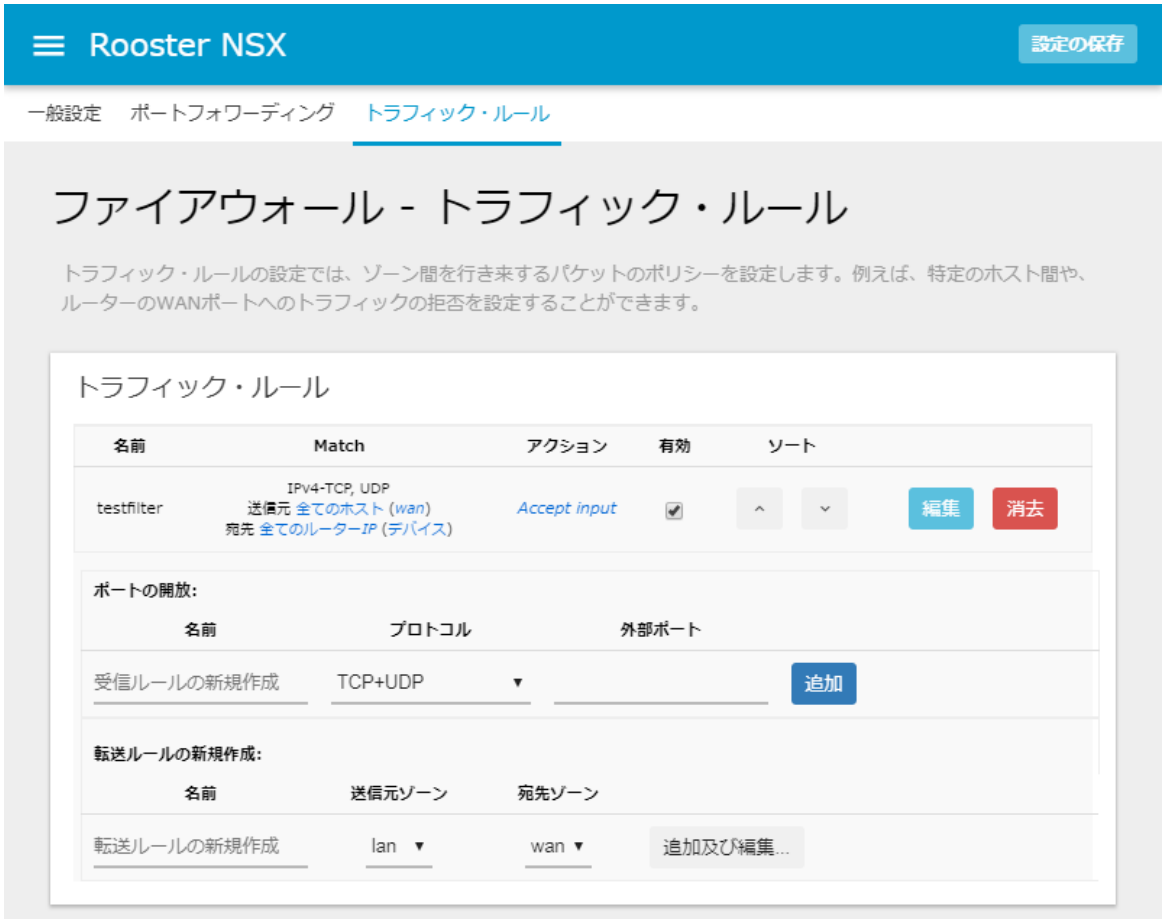
設定項目の説明

項目	内容
名前	DNAT の設定名です。
プロトコル	DNAT の対象にするプロトコルを指定します。
送信元ゾーン	DNAT の対象にするパケットの受信ゾーンを指定します。
送信元 MAC アドレス	DNAT の対象にするパケットの送信元 MAC アドレスを指定します。 MAC アドレスを指定する場合、同時に IP アドレスの指定は行えません。
送信元 IP アドレス	DNAT の対象にするパケットの送信元 IP アドレスを指定します。
送信元ポート	DNAT の対象にするパケットの送信元ポート番号を指定します。
外部 IP アドレス	DNAT の対象にするパケットの宛先 IP アドレスを指定します。
外部ポート	DNAT の対象にする宛先ポート番号を指定します。
内部ゾーン	宛先 IP アドレス、ポートを書き換えた後の宛先ゾーンを指定します。
内部 IP アドレス	書き換え後の宛先 IP アドレスを指定します。
内部ポート	書き換え後の宛先ポート番号を指定します。
NAT ループバックを有効にする	NAT ループバックを有効にします。 LAN 側からのパケットを本装置で受信させ、LAN 側の宛先へ書き換えて転送したい場合に有効にする機能です。

4-7-4 トラフィック・ルール設定

- フィルタリング設定の一覧表示と設定追加、編集、削除、優先度の変更が行えます。

> memo wan ゾーンから lan ゾーンへの転送ルールの場合、送信元ゾーンに wan ゾーンを設定し、宛先ゾーンに lan ゾーンを設定します。



タブ項目の説明

項目	内容
一般設定	デフォルトポリシー、ゾーンの設定ページを表示します。
ポートフォワーディング	ポートフォワーディングの設定ページを表示します。

ボタン項目の説明

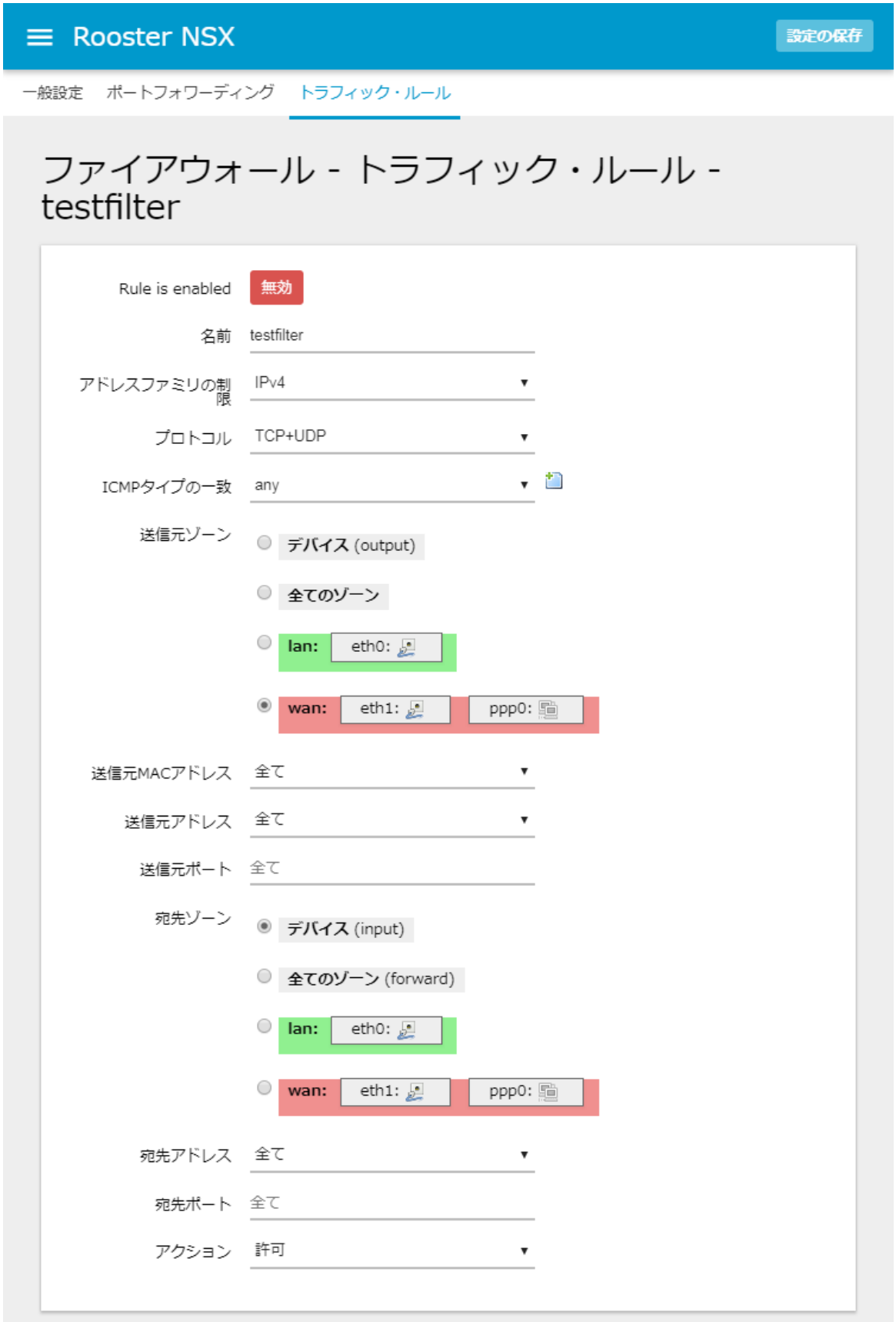
項目	内容
ソート	優先度の変更が行えます。 トラフィック・ルール設定は上から順に優先度が高くなります。
編集	設定を変更します。
消去	設定を削除します。
追加	受信ルールとして設定を追加します。
追加及び編集	転送ルールとして設定を追加します。

設定項目の説明

項目	内容
有効	設定を有効化します。
名前	トラフィックルールの設定名です。
プロトコル	フィルタリングの対象にするプロトコルを指定します。
外部ポート	フィルタリングの対象にするポート番号を指定します。
送信元ゾーン	フィルタリングの対象にする受信時のゾーンを指定します。
宛先ゾーン	フィルタリングの対象にする宛先のゾーンを指定します。

トラフィック・ルールの詳細設定

- 送信元、宛先、対象のゾーン等のフィルタリングルールを設定できます。



ボタン項目の説明

項目	内容
Rule is enabled	設定の有効、無効を切り替えます。

設定項目の説明

項目	内容
名前	DNAT の設定名です。
プロトコル	DNAT の対象にするプロトコルを指定します。
ICMP タイプの一致	プロトコルに ICMP を指定した場合、ICMP タイプを指定できます。
送信元ゾーン	送信元ゾーンを指定します。 デバイス（output）：送信パケットに対するフィルタリングルールになります。
送信元 MAC アドレス	DNAT の対象にする送信元 MAC アドレスを指定します。 MAC アドレスを指定する場合、同時に IP アドレスの指定は行えません。
送信元アドレス	DNAT の対象にする送信元 IP アドレスを指定します。
送信元ポート	DNAT の対象にする送信元ポート番号を指定します。
宛先ゾーン	宛先ゾーンを指定します。 デバイス（input）：本装置宛のパケットに対するフィルタリングルールになります。
宛先アドレス	宛先 IP アドレスを指定します。
宛先ポート	宛先ポート番号を指定します。
アクション	ルールに一致した際のアクションを設定します。 許可：受信、送信、転送を許可します。 拒否：パケットを拒否します。（送信元に ICMP エラーを返します） 遮断：パケットを破棄します。（送信元に ICMP エラーを返しません） コネクション追跡を行わない：対象パケットのコネクション追跡を行いません。

MAC アドレスを指定する場合、同時に IP アドレスの指定はできません。

送信元ゾーンにデバイス（output）を設定すると送信ルールになります。
この場合、宛先ゾーンに「デバイス（input）」を指定できません。

宛先ゾーンにデバイス（input）を設定すると受信ルールになります。
この場合、宛先ゾーンに「デバイス（output）」を指定できません。

「コネクション追跡を行わない」を設定すると、受信許可、送信拒否のポートに対して echo request を送信したとき、送信が制限されている為、受信は出来ても echo reply に失敗します。

4-7-5 送信元NAT設定

- 送信元 NAT 設定の一覧表示と設定追加、編集、削除、優先度の変更が行えます。

ボタン項目の説明

項目	内容
ソート	優先度の変更が行えます。送信元 NAT 設定の上から順に優先度が高くなっており、上下のアイコンで優先度を変更します。
編集	送信元 NAT 設定を変更します。
消去	送信元 NAT 設定を削除します。
追加及び編集...	送信元 NAT 設定を追加します。

設定項目の説明

項目	内容
有効	設定を有効化します。
名前	送信元 NAT ルールの設定名です。
送信元ゾーン	送信元 NAT の対象にする受信ゾーンを指定します。
宛先ゾーン	送信元 NAT の対象にする宛先ゾーンを指定します。
変換後送信元 IP	書き換え後の送信元 IP アドレスを指定します。
変換後送信元ポート	書き換え後の送信元ポートを指定します。

送信元NATの詳細設定

送信元 NAT の条件を細かく設定します。

ボタン項目の説明

項目	内容
Rule is enabled	設定の有効、無効を切り替えます。

設定項目の説明

項目	内容
名前	送信元 NAT の設定名です。
プロトコル	送信元 NAT の対象にするプロトコルを指定します。
送信元ゾーン	送信元 NAT の対象にする受信ゾーンを指定します。
送信元 IP アドレス	送信元 NAT の対象にする送信元 IP アドレスを指定します。
送信元ポート	送信元 NAT の対象にする送信元ポート番号を指定します。
宛先ゾーン	送信元 NAT の対象にする宛先ゾーンを指定します。
宛先 IP アドレス	送信元 NAT の対象にする宛先 IP アドレスを指定します。
宛先ポート	送信元 NAT の対象にする宛先ポート番号を指定します。
SNAT IP アドレス	書き換え後の送信元 IP アドレスを指定します。
SNAT ポート	書き換え後の送信元ポートを指定します。

4-8 トリガー

概要

［ネットワーク］－［トリガー］ページについて説明します。

トリガー機能は設定されたイベント（インタフェースのリンクアップ、ダウン、ハートビートの到達、不到達等）を契機に、複数のアクション（本装置の再起動、ルート設定変更、ユーザーLED の制御等）を行う機能です。

memo 【トリガーの設定方法】
https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=trigger

トリガーの表示内容

項目	内容
トリガー名	登録されたトリガーの設定名を表示します。
有効	トリガー設定を有効に設定します。チェックを外すと無効になります。

ボタン項目の説明

項目	内容
編集	登録済みのトリガーを編集します。
削除	登録済みのトリガーを削除します。
追加	トリガーを新規登録します。

設定項目の説明

項目	内容
新しいトリガーグループ	新規登録するトリガーの設定名を入力します。

4-8-1 リンク状態

- リンク状態が変化すると設定したアクションが実行されます。

設定項目の説明

項目	内容
トリガーグループ名	トリガーの名前を設定します。
イベント	アクションを作動させる契機となるイベントの種別を選択します。 Link： インタフェースのリンク状態の変化を契機にします。 Heartbeat： 指定した宛先へのハートビートを送信し、その結果を契機にします。
リンクステータス	契機とするインタフェースのリンク状態を設定します。 選択したインタフェースが選択した状態に変化するとアクションが動作します。 Link Up： リンク状態がダウンからアップに変化するとアクションを実行します。 Link Down： リンク状態がアップからダウンに変化するとアクションを実行します。 両方（リンクアップかリンクダウン）： リンク状態が変化するとアクションを実行します。
インタフェース	監視するインタフェースを選択します。

4-8-2 ハートビート

- 指定した宛先にハートビート（ping）を実行します。
- ハートビートの実行結果（成功、失敗）を契機に設定したアクションが実行されます。

設定項目の説明

項目	内容
トリガーグループ名	トリガーの名前を設定します。
イベント	アクションを作動させる契機となるイベントの種別を選択します。 Link： インタフェースのリンク状態の変化を契機にします。 Heartbeat： 指定した宛先へのハートビートを送信し、その結果を契機にします。
送信先	ハートビートの送信先 IP アドレスを設定します。
モード	契機とするハートビートの結果を選択します。 Reachable： ハートビートが成功するとアクションを実行します。 Unreachable： ハートビートが失敗するとアクションを実行します。
送信元 IP	ハートビートの送信元 IP アドレスを設定します。
インタフェース	ハートビートの送信で使用するインタフェースを設定します。
間隔	ハートビートの送信間隔を設定します。
閾値	ハートビートの失敗と判断する不到達の回数を設定します。 ハートビートの不到達が閾値に設定した回数連続して発生すると、ハートビートの失敗と判断します。
タイムアウト	ハートビートのタイムアウト時間を設定します。 タイムアウト時間を経過してもハートビートの送信先から応答が得られないと不到達になります。

4-8-3 アクション設定

- 「4-8-1 リンク状態」、「4-8-2 ハートビート」のイベント発生時に実行するアクションを設定します。

> memo アクションは上から順に実行されます。

トリガーの表示内容

項目	内容
アクションタイプ	実行するアクションの種別を表示します。
詳細	アクションの詳細を簡易的に表示します。
ソート	アクションの実行順番を変更できます。

ボタン項目の説明

項目	内容
編集	登録済みのアクションを編集します。
削除	登録済みのアクションを削除します。
追加	アクションを新規登録します。

4-8-4 アクション：再起動

- イベント発生時に本装置の再起動を実行します。

設定項目の説明

項目	内容
アクション	イベント発生時に実行するアクションを設定します。
再起動対象	本装置の再起動を行います。

4-8-5 アクション：LED

- イベント発生時に本装置に内蔵されている「USER」LED の制御を実行します。

設定項目の説明

項目	内容
アクション	イベント発生時に実行するアクションを設定します。
LED タイプ	ユーザ LED を制御します。 点灯： LED を点灯します。 点滅： LED の点灯⇒消灯を繰り返します。 消灯： LED を消灯します。

4-8-6 アクション:トリガー

- イベント発生時に設定済みのトリガーの有効／無効を切り替えます。

設定項目の説明

項目	内容
アクション	イベント発生時に実行するアクションを設定します。
対象のトリガーグループ名	設定済みのトリガー名を選択します。
状態	選択したトリガーの有効／無効を切り替えます。 有効： 選択したトリガー設定の状態を有効にし、 イベント発生時にアクションが実行される状態になります。 無効： 選択したトリガー設定の状態を無効にし、 イベント発生時にアクションが実行されない状態になります。 ハンドオーバー： 選択したトリガー設定の状態を有効にし、 このアクションが設定されているトリガーの状態を無効にします。

4-8-7 アクション：ウェイト

- 次のアクション実行までの待ち時間を設定できます。

設定項目の説明

項目	内容
アクション	イベント発生時に実行するアクションを設定します。
待ち時間	次のアクションまでの待ち時間を設定します。 指定秒数後にアクションを作動させたい際に使用します。

4-8-8 アクション：ルート

- イベント発生時にルートの追加・削除が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
アクション	イベント発生時に実行するアクションを設定します。
ルートタイプ	ルートの追加／削除を選択します。 追加： 　ルートテーブルに設定を追加します。 削除： 　ルートテーブルから該当する設定を削除します。
送信先 IP	ルートの宛先アドレス（ネクストホップ）、又はネットワークを設定します。 IP アドレス、ネットワークアドレスを指定できます。
インタフェース名または IPv4 アドレス	送信元のインタフェース、又はゲートウェイの IP アドレスを設定します。

4-9 IPsec

概要

［ネットワーク］－［IPsec］ページについて説明します。
IPsec 設定ページでは、IPsec 接続で使用する認証設定や暗号化方式の設定を行うことができます。

memo	IPsec を使用するには「4-1-8 プロトコル：Unmanaged」と「4-7 ファイアウォール」の設定が必要です。 【IPsec の設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=ipsec

IPsec設定一覧

ボタン項目の説明

項目	内容
開始	IPsec 接続を開始します。
停止	IPsec 接続を切断します。
編集	追加済みの設定を編集できます。
消去	設定を消去できます。
追加	設定を追加できます。

IPsecの表示内容

項目	内容
名前	設定名を表示しますです。
仮想インターフェース	IPsec で使用するインタフェース名を表示します。
相手側接続 IP アドレス	IPsec トンネルの宛先を表示します。
自装置側接続 IP アドレス	IPsec トンネルの送信元を表示します。
コメント	設定で追加したコメントを表示します。

IPsec詳細設定

- IPsec の暗号化や、認証に関する設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
名前	設定名を設定します。
仮想インタフェース	使用する仮想インタフェース名を設定します。
IKE バージョン	IKE バージョンを設定します。
モード設定	IKEv1 の場合、アグレッシブモードとメインモードを設定します。
接続種別	イニシエータ、レスポンダを設定します。
常時接続	イニシエータの場合にのみ有効です。 IPsec の設定が有効な場合に自動的に接続を開始します。
経路自動追加	IPsec 設定追加時に、相手側ローカルネットワーク宛の経路を自動的に追加します。
ハッシュアルゴリズム	ハッシュアルゴリズムを設定します。 md5、sha1、sha256、sha384、sha512 を設定できます。
暗号化アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを設定します。 aes256、3des を設定できます。
PFS グループ	DH グループを設定します。 modp1024、modp1536、modp2048、modp3072、modp4096、modp6144、modp8192、DH22、DH23、DH24 を設定できます。
PFS を有効にする	PFS を有効にします。
事前共有鍵	Pre－Shared Key 方式で認証を行います。 認証用の共有鍵を設定します。
IKE Life Time	ISAKMP SA のライフタイム（秒）を設定します。
IPsec Life Time	IPsec SA のライフタイム（秒）を設定します。
相手側接続 IP アドレス	IPsec トンネルの宛先を設定します。
相手側ローカルネットワーク	IPsec トンネルの対象となる宛先ネットワークを指定します。
相手側識別子	接続相手の識別子を設定します。
自装置側接続 IP アドレス	IPsec トンネルの送信元を設定します。 PPP 等の動的 IP アドレスのインタフェースを指定する場合、「%ppp0」のように「%」加えたインタフェース名を設定できます。
自装置側ローカルネットワーク	IPsec トンネルの対象となる送信元ネットワークを指定します。
自装置側識別子	本装置の識別子を設定します。
コメント	設定一覧で表示されるコメントを設定します。
Dead Peer Detection	DPD を有効にすると、ピアとの疎通を確認します。
DPD 送信間隔	DPD の送信間隔（秒）を設定します。
DPD タイムアウト	DPD 応答待ち時間（秒）を設定します。

4-10 PPTPサーバ

概要

［ネットワーク］－［PPTP サーバ］ページについて説明します。

PPTP サーバに関する設定を行うことができます。

> PPTP サーバを使用するには「4-1-7 プロトコル：VPN」、「4-7 ファイアウォール」の設定が必要です。
>
> 【PPTP サーバの設定方法】
> https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=pptp

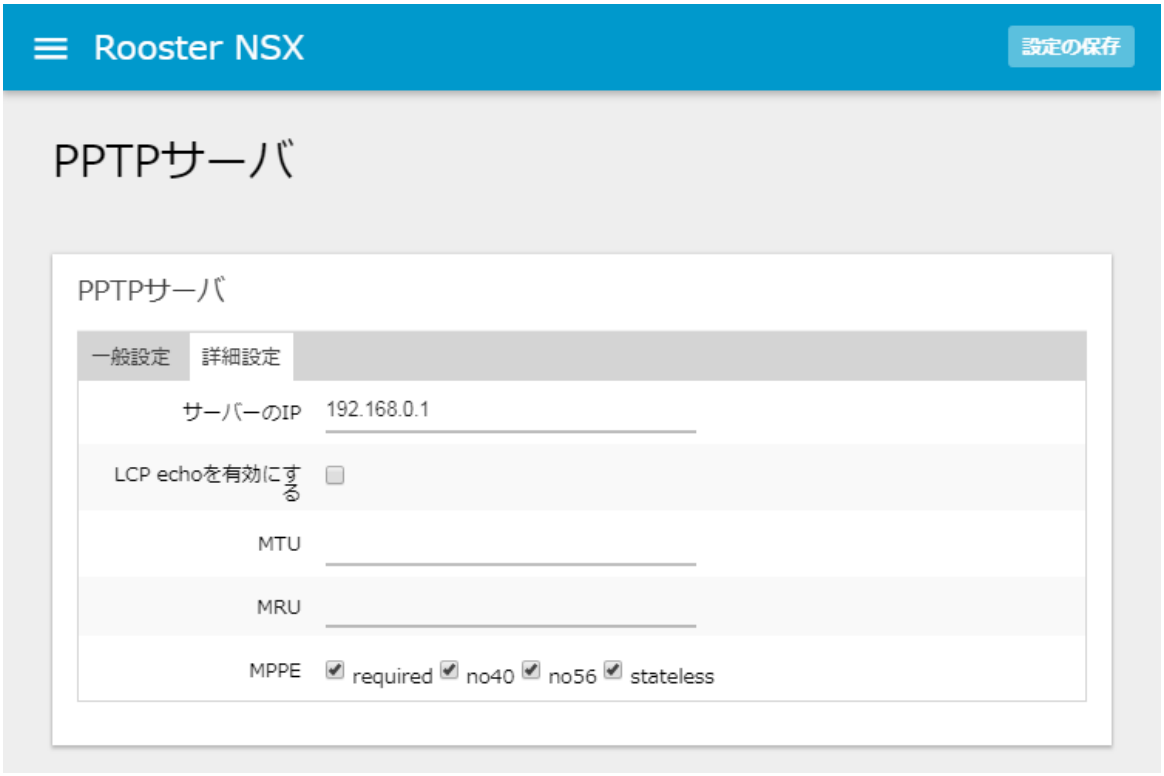
一般設定

- PPTP サーバの認証プロトコルや、同時接続数の設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
PPTP サーバを有効にする	PPTP サーバ機能を有効にします。
認証プロトコル	認証方式を選択します。 PAP： PAP 方式を指定します。 CHAP： CHAP 方式を指定します。 MSCHAP-V2： MSCHAP-V2 方式を指定します。
割り当て開始 IP	クライアントに割り当てる最初の IP アドレスを設定します。
割り当て個数	PPTP で使用する、割り当て IP アドレスの個数を設定します。 ユーザーの個数分指定します。
割り当てるインタフェース	クライアントの接続に使用するインタフェースを設定します。 事前に「4-1-7 プロトコル：VPN」の設定を接続の数だけ作成してください。

詳細設定



設定項目の説明

項目	内容
サーバーの IP	PPTP サーバのアドレスを設定します。
LCP echo を有効にする	LCP echo による監視を有効にします。 本項目をチェックした場合、下記 Lcp-echo インターバル【秒】、Lcp-echo 失敗閾値【回】を設定します。
Lcp-echo インターバル【秒】	Lcp-echo を送信する間隔を秒単位で設定します。
Lcp-echo 失敗閾値【回】	Lcp-echo に連続で失敗した際に PPTP 接続を切断する閾値を設定します。
MTU	PPTP 接続時にインタフェースの MTU を設定します。
MRU	PPTP 接続時にインタフェースの MRU を設定します。
MPPE	MPPE の設定をします。 認証方式に MSCHAP-V2 を指定した場合に有効な設定です。

認証設定

- PPTP クライアントのユーザ設定が行えます。

> 接続の数だけクライアントの設定を行ってください。

設定項目の説明

項目	内容
ユーザー名	認証時に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	認証時に使用するパスワードを設定します。
固定 IP アドレス割り当て	特定のクライアントに割り当てる固定の IP アドレスを設定します。

4-11 L2TP/IPsecサーバ

概要

［ネットワーク］－［L2TP/IPsec サーバ］ページについて説明します。
L2TP/IPsec サーバ設定ページでは、L2TP/IPsec サーバに関する設定を行うことができます。

memo	L2TP / IPsec サーバを使用するには「4-1-7 プロトコル：VPN」、「4-7 ファイアウォール」の設定が必要です。
	【L2TP / IPsec サーバの設定方法】 https://www2.sun-denshi.co.jp/config-example/?cat=47&tag=l2tp-ipsec

!	「4-9IPsec」との同時使用はサポート対象外です。
	お使いの端末によって本装置と接続できないことがあります。

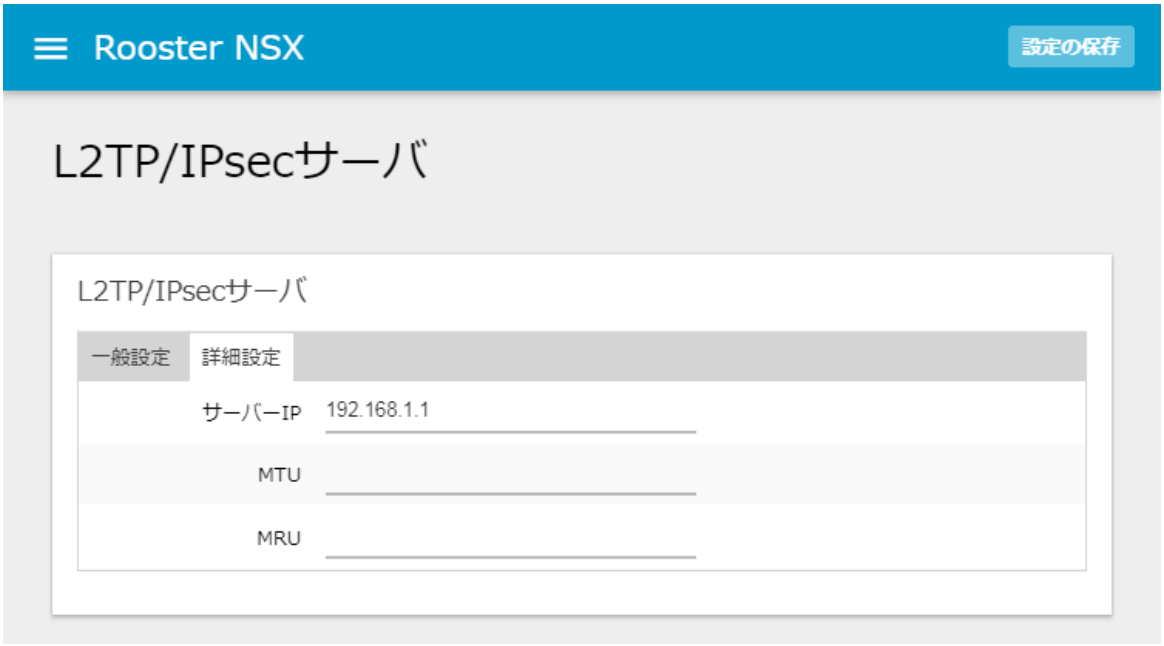
一般設定

- L2TP / IPsec で使用する IP アドレスの設定や、暗号化、認証に関する設定が行えます。

設定項目の説明

項目	内容
L2TP/IPsec server を有効にする	L2TP / IPsec サーバ機能を有効にします。
自装置アドレス	接続を待ち受ける自装置のアドレスを設定します。 IP アドレスまたは、インタフェース名を指定できます。
ハッシュアルゴリズム	ハッシュアルゴリズムを設定します。 md5、sha1、sha256、sha384、sha512 を設定できます。
暗号化アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを設定します。 aes256、3des を設定できます。
PFS グループ	DH グループを設定します。 modp1024、modp1536、modp2048、modp3072、modp4096、modp6144、modp8192、DH22、DH23、DH24 を設定できます。
IPsec 事前共有鍵	Pre－Shared Key 方式で認証を行います。 認証用の共有鍵を設定します。
認証プロトコル	認証方式を選択します。 PAP： PAP 方式を指定します。 CHAP： CHAP 方式を指定します。 MSCHAP-V2： MSCHAP-V2 方式を指定します。
割り当て開始 IP	クライアントに割り当てる最初の IP アドレスを設定します。
割り当て個数	L2TP / IPsec で使用する、割り当て IP アドレスの個数を設定します。 ユーザーの個数分設定します。
割り当てるインタフェース	クライアントの接続に使用するインタフェースを設定します。 事前に「4-1-7 プロトコル：VPN」の設定を接続の数だけ作成してください。

詳細設定



設定項目の説明

項目	内容
サーバーの IP	L2TP / IPsec サーバのアドレスを設定します。
MTU	接続時にインタフェースの MTU を設定します。
MRU	接続時にインタフェースの MRU を設定します。

認証設定

- L2TP / IPsec クライアントのユーザ設定が行えます。

> 接続の数だけクライアントの設定を行ってください。

設定項目の説明

項目	内容
ユーザー名	認証時に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	認証時に使用するパスワードを設定します。
固定 IP アドレス割り当て	特定のクライアントに割り当てる IP アドレスを設定します。

4-12 診断機能

概要

［ネットワーク］－［診断機能］ページについて説明します。
診断機能では構築したネットワーク環境の確認を Web 設定ツール上で行うことができます。
ping コマンドによる到達性の確認、traceroute コマンドによるネットワークの経路確認、nslookup コマンドによる DNS サーバへの問い合わせ確認が行えます。

ボタン項目の説明

項目	内容
PING	設定された宛先へ ping コマンドを実行し、結果を表示します。
TRACEROUTE	設定された宛先へ traceroute コマンドを実行し、結果を表示します
NSLOOKUP	DNS サーバへ問い合わせを行い、結果を表示します。

設定項目の説明

項目	内容
PING	ping の送信先を設定します。
TRACEROUTE	traceroute の送信先を設定します。
NSLOOKUP	DNS サーバへの問い合わせるホスト名を設定します。

サポートのご案内

ご質問･お問い合わせ

NSX に関するご質問やお問い合わせは、弊社サポートセンターへご連絡願います。

サポートセンター

- 電話　0587-53-7606
- FAX　0587-55-0815
- メール　support-suncomm@sun-denshi.co.jp
- 受付時間　月曜～金曜　10:00～16:00（12:00～13:00 を除く）
  祝祭日、弊社休日を除く

Rooster NSX 機能説明書 Ver.1.5.0R2

サン電子株式会社
2021 年 1 月発行　（210107）

Copyright© SUNCORPORATION All rights reserved.